

第四十一回 帝國議會 貴族院議事速記録第二十五號

大正八年三月二十六日(水曜日)

午前十時十四分開議

議事日程 第二十五號 大正八年三月二十六日

午前十時開議

第一 請願委員長報告

第二 大正六年度豫備金支出ノ件(承諾ヲ求ムル件)

(衆議院送付) 會 議(委員長報告)

第三 大正六年度豫備金外ニ於テ豫算超過及豫算外支出ノ件(承諾ヲ求ムル件)(衆議院送付) 會 議(委員長報告)

第四 大正六年度特別會計豫備金支出ノ件(承諾ヲ求ムル件)(衆議院送付) 會 議(委員長報告)

第五 大正六年度特別會計豫備金外ニ於テ豫算超過及豫算外支出ノ件(承諾ヲ求ムル件)(衆議院送付) 會 議(委員長報告)

第六 大正六年度大正三年臨時事件豫備費支出ノ件(承諾ヲ求ムル件)(衆議院送付) 會 議(委員長報告)

第七 (承諾ヲ求ムル件)(衆議院送付) 會 議(委員長報告)

第八 大正六年度帝國鐵道特別會計積立金外ニ於テ豫算超過支出ノ件(承諾ヲ求ムル件)(衆議院送付) 會 議(委員長報告)

第九 都市計畫法案(政府提出、衆議院送付) 會 議(委員長報告)

第十 市街地建築物法案(政府提出、衆議院送付) 會 議(委員長報告)

第十一 阿片法中改正法律案(政府提出、衆議院送付) 會 議(委員長報告)

第十二 大正四年法律第十六號中改正法律案(政府提出、衆議院送付) 會 議(委員長報告)

第十三 大正五年度歳入歳出總決算、大正五年度各第一讀會ノ續(委員長報告)

特別會計歳入歳出決算報告 會 議(委員長報告)

第十四 農工銀行法中改正法律案(衆議院提出) 第一讀會ノ續(委員長報告)

第十五 金祿公債證書不足額下付ニ關スル請願 會 議

第十六 金祿公債證書不足額下付ニ關スル請願 會 議

第十七 家祿賞典祿下付ニ關スル請願 會 議

第十八 家祿賞典祿下付ニ關スル請願 會 議

第十九 特別用鹽規則中改正ノ請願 會 議

第二十 三本松區裁判所復設ノ請願 會 議

第二十一 野崎郵便局ニ集配事務開始ノ請願 會 議

第二十二 坂上郵便局桑野郵便局間ニ遞送開始ノ請願 會 議

第二十三 野洲郵便局ニ電信並集配事務開始ノ請願 會 議

第二十四 家祿賞典祿下付ニ關スル請願 會 議

第二十五 阿讚連絡鐵道東讚線敷設ノ請願 會 議

第二十六 上越鐵道中高崎澁川間工事速成ノ請願 會 議

第二十七 福岡縣三潞郡大野島村ニ無集配郵便局設置ノ請願 會 議

第二十八 大正六年法律第六號軍人恩給法附則改正ノ請願 會 議

第二十九 東太良郵便局ニ集配事務開始ノ請願 會 議

第三十 區裁判所管轄區域變更ノ請願 會 議

第三十一 勝山區裁判所出張所設置ノ請願 會 議

第三十二 伯備線鐵道速成ノ請願 會 議

第三十三 興部枝幸間鐵道敷設ノ請願 會 議

第三十四 帝國在郷軍人會國庫補助ノ請願 會 議

第三十五 鶴岡大泉間輕便鐵道敷設ノ請願 會 議

第三十六 白水輕便鐵道敷設ノ請願 會 議

第三十七 北海道上川郡人舞村ニ帶廣區裁判所出張所設置ノ請願 會 議

第三十八 軍人恩給法中改正ノ請願 會 議

第三十九 鶴岡區裁判所狩川出張所設置ノ請願 會 議

第四十 軍人恩給法中改正ノ請願 會 議

第四十一 町村長表彰規則制定ニ關スル請願

會 議

第四十二 根室港修築速成ノ請願

會 議

第四十三 利根江戸兩川浚渫ノ請願

會 議

第四十四 海嘯被害防禦ニ關スル請願

會 議

第四十五 日本住血吸蟲病豫防撲滅事業費國庫補助ノ請願

會 議

第四十六 伯備線鐵道速成ノ請願

會 議

○議長(公爵徳川家達君) 是ヨリ諸般ノ報告ヲ致サセマス

〔長書記官朗讀〕

昨二十五日本院ニ於テ可決シタル左ノ政府提出案ハ即日裁可ヲ奏請シ又可決ノ旨ヲ衆議院ニ通知セリ

高等諸學校創設及擴張費支辨ニ關スル法律案

大正八年度歳入歳出總豫算追加案(第二號)

衆議院議員選舉法中改正法律案

同日政府ヨリ左ノ訂正書ヲ受領セリ

大正六年度官有財産増減異動報告訂正書

○議長(公爵徳川家達君) 是ヨリ會議ヲ開キマス、陸軍大臣ヨリ發言ヲ求めラレマシタカラ許可イタシマス

〔國務大臣田中義一君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(田中義一君) 私ハ西伯利亞ニ於ケル狀況ヲ此會期切迫ノ折柄皆様ニ報告ヲ申上ゲマス必要ガアルト思ヒマス、概略ノ狀況ヲ此所デ申述ベマス、尙ホ此詳細ノコトニ付キマシテハ、本日中午ニ軍隊ノ行動シマシタ經過ヲ圖ニ描キマシタモノヲ添ヘテ皆様ノ御手許ニ提出スルコトニ致シテ置キマス、御承知ノ通りニ昨年八月我ガ軍隊ガ出動イタシマシタ以後、我ガ軍隊ノ行動ハ極メテ敏速デアリマシタト云フコトノ爲ニ極東露領ノ過激派ハ漸次沈黙ノ狀況ニナッタノデアリマス、又沈黙イタシマスト共ニ過激派ハ各地ニ分散イタシマシテ、此大部分ハ我軍ノ合撃乃至包圍ニ抵抗スルコトガ出來ズシテ、遂ニ大部分ハ「ブラゴエシチエンスク」附近ニ於テ全ク一時潜伏ヲ致シタノデアリマス、其後ニ於キマシテハ、我軍ノ總テノ行動ヲ統一シ、又此軍事關係

ノ政務乃至運輸交通ニ關スル事項ヲ總テ統一のニ組織スル必要ガアリマス爲ニ、是等ノ業務ヲ舉ゲテ浦鹽派遣軍司令官ニ屬セラレタノデアリマス、又ソレト共ニ第三師團、即チ後貝加爾州ニ出動シテ居リマシタ第三師團及第七師團ト共ニ浦鹽派遣軍司令官ノ指揮ニ這入ッタノデアリマス、此總テノ軍隊ノ業務ヲ統一指揮セシメマスルト共ニ更ニ將來ノ極東露領ニ於ケル我ガ軍事ノ行動ニ關スル方針ヲ決定スルト云フ必要ガアッタノデアリマス、ソコデ此方針ヲ致シマシテハ、浦鹽派遣軍司令官ヲシテ漸次分散イタシテ居リマシタ兵力ヲ必要ナ地點ニ集結ヲサセマシテ、而シテ該地方ノ治安ヲ確實ニ保持セヨト云フコトニ指示サレタノデアリマス、又此兵力ヲ集結イタシマシタ地點以外ニ生ジタ所ノ過激派ノ騷擾ニ對シマシテハ、我軍ノ自衛上必要ナル場合ニハ致方ガナイノデアリマスガ、サモナケレバ成ルベク露國ノ官憲ヲシテ之ヲ鎮定セシメルコトガ必要ナル、若シモ此露國ノ官憲ノ兵力ガ足ラヌ場合ニ於テハ適當ノ措置ヲ執ッテ宜シイ、斯ウ云フコトガ其際ニ於ケル我軍ノ行動ノ方針デアッタノデアリマス、之ヲ他ノ言葉ヲ以テ申シマスレバ、露國ノ穩健分子ヲ援助シテ治安ヲ維持スルト云フコトヲ以テ一般ノ方針ト爲スト云フコトデアリマス、然ルニ一度四散潜伏イタシマシタ所ノ此過激派ハ、更ニ隱微ノ間ニ於テ再舉ノ計畫ヲシタヤウデアリマス、其方法ト致シマシテハ先ヅ密ニ各村ニ代表者ヲ置イテ、又主要ナル地點ニハ此同主義ノ支部ヲ設ケテ、サウシテ密ニ「トロッキー」ノ名前ヲ以テ軍隊ヲ徵募シタヤウデアリマス、此狀況ガ生ジマスルト共ニ、各地ニ潜伏シテ居リマシタ衣食ニ窮シテ居ル所ノ過激派ノ兵卒ハ三々五々、何レノ方面カラモ逐次ニ集ッテ來タヤウデアリマス、而シテ此勢力ガ段々日ニ増シ増加シマスルト共ニ、彼ノ行動モ亦不穩ノ状態ヲ現ハシテ來タノデアリマス、遂ニ「ブラゴエシチエンスク」附近ヲ根據ト致シマスル過激派ノ首領タル所ノ「ムーヒン」ト申シマス者ノ指揮ノ下デ集ッテ者ガ最モ力ガ強カッタヤウデアリマス、去リナガラ此「ムーヒン」ノ指揮下ニアリマスル者ガ、此首領ノ節制ニ從ハズシテ、一月十日ニ三四百ノ過激派ノ兵力ヲ以テ「アレキセフスク」ト云フ所ノ東北方約十里バカリニ在リマス「マザノワ」ト云フ所ニ居リマス日本ノ僅ナ部隊ヲ急襲シタノデアリマス、襲撃ヲシタノデアリマス、此襲撃ヲシタト云フコトカラ、端ナクモ彼ノ計畫ガ暴露シタノデアリマス、我軍ガ彼ノ計畫ヲ謀知スルコトガ出來タノデアリマス、此場合ニ於キマシテ、各所ニ潜伏シテ居リマスル所ノ浮浪ノ徒ガ、段々又之ニ

附和雷同シテ、遂ニ良民ノ財力ヲ掠メル、又交通線ヲ遮斷スルト云フヤウ  
ナ危険ナ行動ヲ執ツテ來タノデアリマス、又折カラ丁度此際御承知ノ例ノ巴里  
會議ニ於キマシテ「プリンセス」島ニ露西亞ノ過激派ヲ招致スルト云フコトガ  
アリマシタ爲ニ、彼等ハ米國ガ過激派ヲ私援スルモノデアルカノ如ク誤解  
ヲ致シタ、此誤解ト云フモノガ又一面彼等ノ氣勢ヲ昂奮セシメタト云フコト  
モアルヤウデアリマス、茲ニ於テ此報告ヲ受取りマシテ陸軍當局ハ軍司令官  
ニ、荷モ治安ヲ攪亂スル目的ヲ以テ兵器ヲ携ヘテ我軍ニ抵抗スル者ハ之ヲ抑  
壓セヨト云フコトノ指示ヲ與ヘタノデアリマス、然ルニ此敵ハ益々兵力ヲ集結  
イタシマシテ、遂ニ大舉シテ「ブラゴエシチエンスク」ヲ屠ラムトスルヤウナ  
狀況ニナッタノデアリマス、又此場合ニハ我軍ノ守備シテ居リマスル區域ヲ侵  
シ、或ハ鐵道ヲ破壊シ乃至ハ電線ヲ切斷シテ、日々ニ我軍ヲ強迫スルヤウ  
ナ露骨ナル行動ヲ執ルヤウニナッタノデアリマス、然ルニ露國官憲ノ兵力ハ到  
底之ヲ制壓スルコトハ出來ナイ、ソコデ第十二師團長ハ即チ先刻申上ゲマ  
シタ指示セラレタ所ノ方針ニ從ヒマシテ、彼等ニ茲デ大ナル打撃ヲ與ヘナカ  
タナラバ、到底黑龍州ノ治安ヲ維持スルコトガ出來ヌト云フコトカラ「ブラ  
ゴエシチエンスク」ニ於ケル所ノ第十二師團カラ派遣シテ居リマスル山田少  
將ノ守備隊ヲシテ、露國ノ黑龍哥索克カラ成立ッテ居リマス所ノ所謂黑龍州大  
隊ナルモノト協同ヲ致シマシテ、此過激派ヲ掃蕩スルト云フコトニ從事イタ  
シタノデアリマス、其概況ヲ搔摘シテ申上ゲマスルト、二月上旬以來「ザウ  
イタヤ」ト申シマス土地ノ附近ニ於キマシテ過激派ガ蜂起ヲ致シマシタ、而  
シテ良民ヲ掠奪シ、又我が守備隊ヲ襲撃セムトスルコトノ企ガアリマシタ、  
此報告ニ接シマシテ、第十二師團ノ高橋支隊ガ「ブラゴエシチエンスク」ニ居  
リマスル所ノ山田少將ノ支隊ノ一部ト協同イタシマシテ、各所ニ隱顯出沒ス  
ル所ノ過激派ヲ掃蕩スルコトニ著手ヲ致シマシタ、此際御記憶デモアリマセ  
ウガ、二月ノ十七日ニ「アンドロフカ」ト申シマス所ニ於テ約五百ノ敵ト衝  
突ヲ致シマシタ、茲デ戰鬥ヲ二時間繼續ヲ致シマシタ、此二時間ハ時間ハ短  
クアリマシタケレドモ隨分激戰デアリマス、此際敵ニ大ナル損害ヲ與ヘタル  
モノト見エマシテ、過激派ハ此處ニ約二百ノ死體ヲ遺棄シテ退却ヲ致シマシ  
タ、其際我が支隊ニ於キマシテモ堀少佐以下將校五人、下士以下四十名ノ死  
傷者ヲ出シタノデアリマス、又山田少將ハ過激派ノ狀況ガ容易デナイト云フ  
コトヲ察知イタシマシタ爲ニ、先ヅ彼ニ十分ノ打撃ヲ與ヘ、此憂ヲ大ナラシ

メナイヤウニ、而シテ露國ノ良民ヲシテ、此日本軍ノ保護ノ下ニ安堵セシメ  
ルト云フコトガ最モ必要デアルト考ヘマシテ、二月二十日ニ「ブラゴエシチ  
エンスク」ヲ出發イタシタノデアリマス、此山田少將ノ指揮シテ居リマス支  
隊ノ出發シタノヲ見マシテ敵ハ漸次北ノ方ニ退却ヲ致シマシタ、此時ニ丁度  
「ハバロフスク」カラ新ニ到著イタシマシタ所ノ田中少佐ノ率キテ居リマス二  
中隊ヨリ成ル大隊ガ此所ニ到著イタシマシタ、ソコデ山田少將ハ此田中大隊  
ヲ「ユフタ」ト云フ所ニ派遣イタシマシタ時分ハ「アレキセフスク」ノ方カラ漸  
次敵ヲ壓迫シ、此田中大隊ヲ以テ敵ノ退路ヲ遮斷スルト云フ方法ニ出タノデ  
アリマス、此ニ於テ此敵ハ所謂進退谷マル狀況ニ陥ッタノデ、ソコデ退路ヲ遮  
斷セムトシテ行動イタシマシタ所ノ田中少佐ノ率ユル方面ガ比較的兵力ガ少  
イノデアリマス、デ此方面ニ向ッテ敵ハ重圍ノ中ヨリ脱出セムコトヲ企テタノ  
デアリマス、是ハ所謂窮鼠却ッテ猫ヲ嚙ムト云フヤウナ狀況ニナッタノデアリ  
マス、此田中大隊ニ對戰イタシマシタ敵ハ約二千以上ノ敵デアリマス、此田  
中大隊ハ僅ニ二中隊デアリマス、此田中大隊ハ即チ十倍以上ノ敵ト對抗ヲシ  
タト云フコトニナルノデアリマス、遂ニ此過激派ハ糧ヲ利用イタシマシタ爲  
ニ敵ニ包圍サレタ形ニナリマシテ、茲ニ全隊ガ實ニ悲痛壯烈ナル戰死ヲ遂ゲ  
タノデアリマス、此時ニ二中隊ノ中デ負傷ヲシテ生殘ッタ者ハ僅ニ九名デアリ  
マス、此敵ハ田中少佐ノ大隊ト戰鬥ヲ交ヘマシタ後ニ、更ニ退却ノ方向ヲ轉  
換イタシマシテ東北方ノ方ニ退却ヲ始メタノデアリマス、去リナガラ一方高  
橋大佐ノ率ユル支隊ノ爲ニ急迫セラレマシテ、兎ニ角何レノ地點ニモ停止ス  
ルコト出來ズシテ、三月二日ニ「バウロフスコエ」ト云フ所ニ逃ゲタノデアリ  
マス、其翌日更ニ「ボチカレオ」ト云フ方面カラ前進イタシマシタ高橋大佐ノ  
指揮スル一部ト此敵ヲ兩方面カラ夾撃シタノデアアル、而シテ殆ド此敵ニ全滅  
的打撃ヲ與ヘマシタ爲ニ、敵ハ約五百ノ死體ヲ棄テテ潰亂ヲシテ南方ニ退却  
イタシマシタノデアリマス、又山田少將ハ益々敵ヲ急追イタシマシテ、三月十  
日ニ「ブレヤ」ト云フ所ニ達シタノデアリマス、此際新ニ増加イタシマシタ第  
十二師團ノ田所大佐ノ指揮シテ居リマス所ノ部隊、又第三師團カラ新ニ増加  
シマシタ岡田大佐ノ指揮シテ居リマスル部隊、並ニ航空隊ヲ山田少將ガ併セ  
テ指揮スルコトニナリマシテ、サウシテ鐵道線路ニ沿ウテ北ノ方ニ退却スル  
敵ヲ益々急追イタシマシタ、敵ハ此退却イタシマス途ニ停車場ヲ破壊シ、或ハ  
鐵道橋ヲ破壊スル、乃至ハ村落ヲ掠奪シ、或ハ若イ青年ヲ誘拐シ、乃至ハ婦

女ヲ掠メ……婦女ヲ辱シメルト云フヤウナ極メテ亂暴狼藉ノ行動ヲ執リマシ  
 タガ、我軍ハ一日モ休マズ之ヲ急追ヲ致シマシタ爲ニ、遂ニ昨今ハ最早過激  
 派ハ到底日本軍ニ抵抗スルコトハ出來ヌ、所謂戰鬪ノ士氣ヲ全ク喪失イタシ  
 マシテ、更ニ兵器ヲ捨テテ郷里ニ隠レルヤウナ状態デアリマスカラ、此方面  
 ノ狀況モ不日鎮定スルコトダト思ヒマス、概略右申述ベマシタ如ク、我軍ガ  
 早ク此過激派ノ計畫ヲ承知イタシマシテ之ニ應ズル處置ヲ取リマシタ爲ニ、  
 此過激派ノ計畫ヲ未前ニ防遏スルコトガ出來マシタノハ實ニ至大ノ幸福ト思  
 ヒマス、殊ニ先刻申上ゲマシタ首領ノ「ムーヒン」ナル者ハ露西亞軍ノ手ニ捕  
 ヘラレ、遂ニ銃殺サレタト云フ狀況デアリマスカラ、先ヅ玆ニ此方面ノ一段  
 落ヲ告ゲルコトニナルデアラウト存ジマス、要スルニ我ガ軍隊ハ此極寒ノ場  
 合ニ於キマシテ行動ガ極メテ敏速ヲ要スルト云フコトト、又地形ニ不案内デ  
 アル爲ニ、突然敵ニ襲ハレタト云フコトハアリマシタケレドモ、能ク艱苦缺乏  
 ニ堪ヘ奮闘努力イタシマシタ、其行動ハ實ニ賞讃ニ値スルコトト思ヒマス、  
 依ッテ昨夏以來各地ニ轉戦イタシマシテ、所謂帝國軍ノ威武ヲ發揚イタシマ  
 シタ所ノ第十二師團ハ、其勞苦モ亦多大ナモノデアルト思ヒマスノデ、近ク  
 他ノ師團ト交代セシムルト云フ計畫ヲ有ッテ居ルノデアリマス、又第七師團ハ  
 既ニ此戰爭前ヨリ滿洲ニ駐屯イタシマシタ軍隊デアリマス、駐屯期モ既ニ二  
 年ヲ經過シテ居リマス、ソレ故ニ此第七師團モ亦近ク第十六師團ト交代シテ  
 内地ニ歸還セシメルコトニナッテ居リマス、第三師團ハ遅ク出動イタシマシタ  
 ノデアリマスカラ、今直チニ交代ヲサセルト云フ時期デハナイト思ヒマス  
 ガ、何レ本年ノ未迄ニハ此師團モ亦交代ヲサスベキモノダト考ヘテ居リマス、  
 右概略申述ベマシタ戰況ニ應ジマシテ、我軍ノ大正八年一月以後ノ死傷者ハ、  
 戦死者ガ三百一名、負傷者ガ百五十八名ニ達シテ居リマス、唯今申上ゲマシ  
 タノハ概略ノ狀況デアリマスカラ、何レ先刻申上ゲマシタヤウニ、此軍事行  
 動ヲ尙ホ詳細ニ記述イタシマシテ、且ツ御了解シ易イ爲ニ地圖ヲ附ケマシテ  
 皆サンニ提供イタシマスカラ、此書類ニ就イテ御覽ヲ願ヘバ尙ホ詳細ノコ  
 トハ御了解下サルト信ジマス、今回我軍ノ行動イタシマシタ區域ハ「ブラゴ  
 エシチエンスク」方面デ約二百五十哩ノ區域ノ所デゴザイマス、丁度日本ノ  
 里數ニ致シマスト約百里ノ行動區域デアリマス、此時ノ過激派ノ兵力ハドレ  
 ダケデアッタラウカト申シマスト、的確ニハ分リマセヌガ、少クモ三千以上ノ  
 兵力デアッタラウト思ハレマス、直接此掃蕩ニ從事イタシマシタ日本ノ兵力ハ

千六百位ノ兵力デアリマス、附加ヘテ申シテ置キマスルガ、今日我軍ノ守備  
 シテ居リマスル區域ハ約四千哩ノ長サニ涉ッテ居リマス、日本ノ里數ニシマス  
 ルト約千五百里バカリノ長サニ涉ッテ日本軍ガ今日治安ヲ維持シテ居リマス  
 狀況デアリマス、之ヲ附加ヘテ申述ベテ置キマス

○議長(公爵徳川家達君) 日程第一、請願委員長報告、細川侯爵

〔侯爵細川護立君演壇ニ登ル〕

○侯爵細川護立君 第三回ノ御報告ヲ致シマス、三月九日ヨリ三月二十五日  
 マデ委員會ヲ三回、分科會ヲ十一回開キマシタ、文書表ノ報告ヲ二回、特別  
 報告ヲ三回イタシテ居リマス、請願書ノ受領件數ガ百二十七件、三百九十五  
 通、連署ノ人名ガ一万三百三十六名デアリマス、審査ノ經過及結果ヲ申シマ  
 スト、第二回報告ノ際ニ文書表ニ掲載イタシマシタモノノ中デ審査未了ノモ  
 ノ百三十件、百九十通、及第二回報告後文書表ニ掲載イタシマシタ件數百五  
 十三件、四百六十一通、合計二百八十三件、六百五十一通、此中院議ニ付ス  
 ベシト議決イタシマシタモノガ三十九件、七十二通、審査未了ノモノ百九十七件、  
 四百六十七通ゴザイマス、尙ホ此會期ヲ通ジマシテ全體ノ結果ヲ申シマス、  
 委員會九回、分科會三十四回、文書表ノ報告ガ九回デ特別報告ガ八回ニナッテ  
 居リマス、全體ノ請願文書ノ受領件數ガ四百二十四件、八百七十三通、連署  
 人名數ガ三万四千八百六十八名ニナリマス、其中ノ請願文書表ニ掲載イタシ  
 マシタ件數四百十三件、八百六十二通デアリマシテ、此結果院議ニ付スベシ  
 ト議決イタシマシタ、即チ採擇ヲ致シマシタモノガ百三十件、二百六十九通、  
 院議ニ付スルヲ要セズト議決イタシマシタ、即チ不採擇ガ八十六件、百二十  
 六通デアリマス、審査未了ノモノガ百九十七件、四百六十七通ニナリマス、  
 文書表ニ未ダ掲載イタシマセヌ件數ガ十一件デ十一通ニナッテ居リマス、是ハ  
 昨日ノ午後四時ノ締切デアリマス、此段御報告イタシマス

○議長(公爵徳川家達君) 諸君ニ於テ御異議ガナケレバ日程第二ヨリ第八迄  
 ハ同一委員ニ付託セラレマシタカラ、委員長報告モ之ヲ一括シタイト考ヘマ  
 ス

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 日程第二、大正六年度豫備金支出ノ件、第三、大正六年度豫備金外ニ於テ豫算超過及豫算外支出ノ件、第四、大正六年度特別會計豫備金支出ノ件、第五、大正六年度特別會計豫備金外ニ於テ豫算超過及豫算外支出ノ件、第六、大正六年度大正三年臨時事件豫備費支出ノ件、第七、大正六年度帝國鐵道特別會計積立金支出ノ件、第八、大正六年度帝國鐵道特別會計積立金外ニ於テ豫算超過支出ノ件、承諾ヲ求ムル件、衆議院送付、會議、委員長報告、石井省一郎君

〔左ノ報告書ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタメ茲ニ載録ス以下之ニ倣フ〕

大正六年度豫備金支出ノ件

大正六年度豫備金外ニ於テ豫算超過及豫算外支出ノ件

大正六年度特別會計豫備金支出ノ件

大正六年度特別會計豫備金外ニ於テ豫算超過及豫算外支出ノ件

大正六年度大正三年臨時事件豫備費支出ノ件

大正六年度帝國鐵道特別會計積立金支出ノ件

大正六年度帝國鐵道特別會計積立金外ニ於テ豫算超過支出ノ件

右承諾スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

大正八年三月二十四日

右特別委員長

石井省一郎

貴族院議長公爵徳川家達殿

〔石井省一郎君演壇ニ登ル〕

○石井省一郎君、唯今議題ニ上リマシタ大正六年度豫備金支出ノ件外六件、承諾ヲ承ムル議案ニ付キマシテ、特別委員會ノ經過及決議ヲ御報告ニ及ビマス、此議案ノ内容ハ御承知ノ通り九省一院ニ互リマシテ、其件數モ甚ダ少クアリマセヌ次第デアリマス、且ツ其支出金額ハ一般會計豫備金、特別會計豫備金、其他國庫剩餘金等ヲ合セマシテ一億六千六百二十八萬八千八百八十六圓ノ巨額デゴザイマス、之ニ依テ委員會ハ去ル二十日ヨリ三回相開キマシテ、慎重ニ審査ノ上、各主務政府委員ニソレソレノ質問應答ヲ重ネタル後、討論ニ移リマシテ、審議ノ上一委員ヨリ意見ヲ提出セラレマシタ、其意見ヲ申上ゲマス、補充科目ニ屬スル費途ハ其補充科目タルノ爲ニ豫算ヲ過少ニ見積リ第一豫備金ノ支出ヲ滋クシ、第二豫備金ニ付テハ、一二不急ノ事項ニ對シ支出ヲ爲シタ

ルモノアリ、國庫剩餘金ニ付テハ其内容ヲ見ルニ、恰モ第三豫備金タルガ如キ觀アリ、豫備金ノ増加ニ拘ラズ其實擧ラズ、政府ハ一層其支出ヲ緊縮スルノ要アルベシ、又臨時事件費ニ付テハ時局ノ名ノ下ニ頻ニ官吏ノ外國派遣ヲ企テ、其他名ヲ時局ニ籍リ、職員ノ増置、事務ノ擴張ヲ行フモノアリ、純然タル臨時費ト一般歳入支辨ノモノト混同スル虞アリテ、政府ノ注意ヲ要スベシ、然レドモ大體ニ於テハ承諾ヲ與ヘテ然ルベシト認ムルガ故ニ、唯今議題トナリタル問題ハ、承諾ヲ與フベキモノト決セラレムコトヲ望ム、之ニ付キマシテ各委員諸君モ此意見ニ贊同ヲサレマシテ、遂ニ承諾ヲ與フルコトニ決定イタシマシタ、此段御報告ヲ致シマス

○議長(公爵徳川家達君) 唯今委員長ノ報告セラレマシタ七ツノ承諾ヲ求ムルノ案ハ、一括シテ問題ト致シタク思ヒマス御異議ゴザイマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス、皆承諾ヲ與フルコトニ御異存ゴザイマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス、此際議事ノ都合上休憩ヲ致シマス

午前十時五十四分休憩

午後一時三十八分開議

○議長(公爵徳川家達君) 是ヨリ報告ヲ致サセマス

〔成瀬書記官朗讀〕

本日豫算委員長ヨリ左ノ報告書ヲ提出セリ

大正八年度歳入歳出總豫算追加案(第三號)修正報告書

大正八年度各特別會計歳入歳出豫算追加案(特第一號)可決報告書

豫算外國庫ノ負擔トナルヘキ契約ヲ爲スヲ要スル件(追第二號)內務省所管土木費借入金利子補給及大藏省所管南滿洲鐵道株式會社利益配當可決、農商務省所管帝國開墾株式會社補助否決報告書

大正八年度歳入歳出總豫算追加案(第四號)可決報告書

○議長(公爵徳川家達君) 是ヨリ午後ノ會議ヲ開キマス、此際日程ヲ變更イ

タシテ唯今書記官ノ報告イタシタ大正八年度歳入歳出總豫算追加案、第三號、大正八年度各特別會計歳入歳出豫算追加案、特第一號、豫算外國庫ノ負擔トナルヘキ契約ニ關スル件、追第二號、大正八年度歳入歳出總豫算追加案、第四號ノ會議、委員長報告ヲ加フルコトニ御異議ハゴザイマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナシト認メマス、付テハ此際豫算委員長ノ報告ヲ求メマス

一大正八年度各特別會計歳入歳出豫算追加案(特第一號)

一大正八年度歳入歳出總豫算追加案(第四號)

右衆議院ヨリ送付シタル各案ヲ審査シ衆議院議決案ノ通可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

大正八年三月二十六日

貴族院議長公爵徳川家達殿

豫算委員長 淺田德則

一豫算外國庫ノ負擔トナルヘキ契約ヲ爲スヲ要スル件(追第二號)  
右衆議院ヨリ送付シタル案ヲ審査シ一般會計内務省所管土木費借入金利子補給及大藏省所管南滿洲鐵道株式會社利益配當ヲ可決シ農商務省所管帝國開墾株式會社補助ヲ否決セリ依テ及報告候也

大正八年三月二十六日

貴族院議長公爵徳川家達殿

豫算委員長 淺田德則

一大正八年度歳入歳出總豫算追加案(第三號)  
右衆議院ヨリ送付シタル案ヲ審査シ別冊ノ通修正セリ依テ及報告候也

大正八年三月二十六日

貴族院議長公爵徳川家達殿

豫算委員長 淺田德則

(小字ハ委員會ノ修正  
ハ同削除ノ符號ナリ)

(七頁)

豫算

第一條 大正八年度歳入歳出追加額ヲ各千四百四拾八萬六千參百五拾九圓

ト定ム其ノ款項ノ金額ハ別冊甲號歳入歳出豫算ニ據ルヘシ

(九頁)

甲號

歳入臨時部

千參百四萬六千參百五拾九圓

第十六款 前年度繰入金

金千參百參拾四萬六千參百五拾九圓

第一項 前年度繰入金

金千參百參拾四萬六千參百五拾九圓

(一四頁)

農商務省所管

第一款 産業獎勵費 金參拾萬圓

第十八項 帝國開墾株式會社補助 金參拾萬圓

(一五頁)

農商務省所管合計金 參拾九萬四千四拾八圓

(一六頁)

歳出臨時部合計金 九百九拾六萬四千八百參拾七圓

歳出總計金 千四百四拾八萬六千參百五拾九圓

〔淺田德則君演壇ニ登ル〕

○淺田德則君 唯今議長ヨリ宣告サレマシタ大正八年度歳入歳出總豫算追加外三件ノ豫算案ニ付キマシテ、茲ニ其經過ト結果ヲ御報告イタシマス、一昨二十四日御付託ニ相成リマシタル各案及其後追加サレマシタ第四號ヲ何レモ一括シテ茲ニ御報告ヲ致スコトニ致シマス、豫算總會ハ今朝十時ニ開キマシテ各案ニ付キマシテ種々質問ヲ致サレマシタノデアリマス、尤モ此各案ニ付キマシテノ内容又其數字ノ説明等ハ過日國務大臣ヨリ本議場ニ於キマシテ大體説明ヲ致サレマシタノデアリマスルカラ、會期切迫ノ場合デモアリマスル故ニ、茲ニ詳シイ數字等ハ略スルコトニ致シタイト思ヒマス、デ此大數ノミヨ

舉ゲマスルト云フト、歳入ノ臨時部ハ千四百七十八萬餘圓ニナツテ居リマス、是ハ歳入……即チ歳出ニ至リマシテハ經常部ガ四百五十二萬餘圓、歳出ノ臨時部ガ千二十六萬四千餘圓、歳出ノ總計ガ千四百七十八萬餘圓、是ハ此第三號ノ追加豫算ノモノデアリマス、デ此内容ハ既ニ御承知ノ通りニ警察費ノ分擔費、織物消費稅、或ハ學校擴張費、天災水災其他ノ復舊費、軍人恩給法ノ改正、神戸門司ノ築港費、帝國開墾會社ノ補助費、家祿賞典祿ニ關スル費用、或ハ大阪工業試驗所ノ器具買入費、船用品検査所ノ器具買入費等ガ、是ガ重ナル費用ニナツテ居リマス、又特別會計ノ追加豫算ニ於キマシテハ專賣局、國債整理基金、其他朝鮮總督府ノ臨時手當、文部省ノ學校圖書館ノ費用、其他大體唯今申述ベタヤウナモノデアリマス、ソレカラ此豫算外國庫ノ負擔トナルベキ契約ノ諸件ハ、鳥取縣外四縣ノ土木費ノ借入金ノ利子ノ補給、南滿鐵道ノ利益配當ノ割合ノ變更、帝國開墾株式會社ノ補給ノ件、是等ノモノヲ含シテ居リマス、ソレカラ第四號大正八年歳入歳出總豫算ノ追加ハ、内務省ノ史蹟名勝天然紀念物保存ニ關スル法律制定ニ關シマシタル所ノ諸經費、ソレカラ農商務省ノ度量衡法律ノ改正ニ付キマシテ是ガ準備ノ費用等デアリマス、大體唯今申上ゲマシタ各費途ニ關スルモノデアリマシテ、此審議ハ午前ノ中ニ結了イタシタノデアリマシテ、其委員會中ニハ、矢張り此財政ノニトニ關係イタシマシテ、委員ノ中ヨリモ將來ニ付テ甚ダ追加又追加、或ハ公債又公債ト云フヤウナ次第デアリマシテ、殆ド際限ナク政府カラ提出サレル、之ニ付テ前途甚ダ不安ヲ感ズルト云フコトニ付テ、大藏大臣ニ對シマシテ質問ガアリマシタ、デ之ニ對シマシテ大藏大臣ヨリソレト答辯サレマシテ、政府ハソレ等ノ將來ノ財政ノコトニ付テハ十分ニソレト計畫ヲ致シテ居ルコトデアアルカラシテ、決シテ其場合ニ至ツテ頓挫ヲスルヤウナコトハシナイ積リデアルト云フコトヲ辯ゼラレテ居ルノデアリマス、ソレデ種々其他ニモ或ハ南滿ノ鐵道會社ノ補給ノコトニ關聯イタシマシテ、都督制度ノ改革ニ付テハ將來如何ニナル、或ハ其他此帝國開墾株式會社ノコトハ是ハ別ト致シマシテ、其他ニ付キマシテモ種々ノ質問ガアリマシタガ、本日ハ甚ダ委員會ノ時間モ短イ間デアリマスルシ、又之ヲ悉ク整理イタシマスル時ノ餘地モアリマセヌ故ニ、悉ク之ヲ報告スルノハ却ツテ煩雜ニ互リマスカラシテ、是ハ此際ニ略スルコトニ致シマテ、而シテ採決ニ入りマシテ修正ノ御意見ガ出タノデアリマス、ソレハ此帝國開墾株式會社ノ補給ニ關スル件デアリマシテ、之ニ關シマシテ

ハ修正意見ヲ提出イタサレタ所ノ委員ノ内ヨリ、何分ニモ此重大ナル所ノ問題ニ關シテ時日切迫シタル今日ニ於テ、之ヲ十分ニ審議スルト云フコトハ不可能デアアル、既ニ政府ガ之ヲ衆議院ニ廻付イタサレマシテ衆議院ニ於カレテモ、殆ド一週間ニ互ツテ是等ノ事ニ付テ種々審議ヲ致サレタ結果、昨日本院ニ廻タヤウナ次第デアアル、既ニ本院ニ廻サレマシタ上デ、本議場ニ於キマシテ此件ニ付キマシテハ數時間ノ討議ヲ盡サレタ次第デ、左様イタシマシテモ、尙ホ其政府ノ答辯ヲ得、又議員ノ質問ヲ致サレマシタ所ノ結果ニ依リマシテモ、未ダ決定ヲ見ル場合ニハ至ラヌト云フ感想ヲ有ツタノデアリマス、ソレ故ニ是ハ暫ク本豫算ヨリ削除ヲスルト云フコトノ意見デアリマス、尤モ此削除ヲスルト云フコトノ意見ニ對シマシテハ、他ノ數名ノ委員ノ中ニ於キマシテハ、最早此問題ニ關シテハ再考スルノ餘地ハ無イ、此際ニ是ハ直チニ否決スル方ガ宜シイト云フ意見モアリマシタノデアリマシテ、其意見モ縷々述ベラレタノデアリマスルガ、結局此帝國開墾株式會社ノ補給ニ關シマシテハ、多數ノ諸君ニ於カレマシテハ、其歸著點ハ之ヲ否決スルト云フコトニ相成リマシタノデアリマス、即チ、豫算外國庫ノ負擔トナルベキ契約ニ於キマシテモ其通りデアリマシテ、是モ此場合ニ於キマシテハ否決スルコトニ相成リマシタ、隨ツテ豫算ニ計上イタサレマシテ居リマスル數字ニ於キマシテハ、其開墾株式會社ノ補給ニ關スル分ヲ削リマシタ結果ト致シマシテハ、ソレト茲ニ異動ヲ生ジタノデアリマスコトヲ茲ニ申上ゲマスルヤウニ致シタイト思ヒマス、即チ農商務省ノ所管、第一款、産業獎勵費金三十萬圓、第十八項、帝國開墾株式會社ノ補助金三十萬圓、是ノ總計ニ於キマシテ三十九萬四千四百八圓トアリマスノガ、九萬四千四百八圓ト相成リマシタ、七頁ノ方ニ於キマシテ、第一條、大正八年度歳入歳出追加額ヲ各千四百七十八萬六千三百五十九圓トアリマスノヲ、千四百四十八萬六千三百五十九圓ト訂正イタシマス、歳入臨時部ニ於キマシテノ十六款、前年度繰入金千三百三十四萬六千三百五十九圓、之ヲ千三百四十六萬三千三百五十九圓、第一項、前年度繰入金千三百三十四萬六千三百五十九圓、之ヲ千三百四十六萬三千三百五十九圓、合計ヲ歳入臨時部合計金千四百七十八萬六千三百五十九圓、ソレヲ千四百四十八萬六千三百五十九圓、斯様ニ改リマシタ、尙ホ此豫算外國庫ノ負擔トナルベキ契約ニ關スル件ノ内ノ、農商務省所管ノ帝國開墾株式會社補助、此分ヲ全部削除ニ相成リマシタノデアリマス、此削除說ニ對シマシテハ、委員會ハ大多數ヲ以チマシテ、之ヲ贊

成イタシマシテ、削除スルコトニ決定イタシマシタノデアリマス、此他四案ヲ總テ纏メマシテ全部是ハ衆議院送付通リニ可決ヲ致シタ次第デアリマスカラ、此段ヲ御報告申上ゲマス

〔男爵坂本俊篤君演壇ニ登ル〕

○男爵坂本俊篤君 私ハ目下進行中ニアリマス所ノ巴里講和會議ニ關連イタシマシテ、軍事上一二、政府ニ質問イタシタウ存ジマス、或ハ唯今御尋イタシマスコトハ時機尙ホ少シク早キカト考ヘマスルガ、今日御尋イタシマセストキニハ遂ニ時機ヲ失スルト考ヘマスカラ、敢テ御尋イタス次第デアリマス、御答辯ガ出來マスル範圍ニ於テ成ルベク要領ヲ御答ヘ願ヒタイト存ジマス、今期ノ新聞ニ對獨軍事條件ト致シマシテ二十箇條ニ互リマスル所ノ條件ガ報道サレタノデアリマス、其概要ハ軍隊ノ人數ノ制限デアルトカ、或ハ軍需品ニ關スル制限デアルトカ、諸般ノ事項ニ互ッテ掲ゲラレテ居リマスガ、私ノ主トシテ御尋イタシタイノハ海軍ニ關係イタス所ノ、其第十七條ノ軍艦製造ニ關スルコトノ制限、竝ニ第十八ノ潜水艇ノ建造及所有ヲ禁ズルト云フコトノ件ニ關シテ御尋イタシタイト存ジマス、御承知ノ通り獨逸ノ有力ナル所ノ軍艦ハ休戰條件ニ依リマシテカラ既ニ聯合與國ニ引渡濟ニナッテ居リマス、殘餘ノ分トシテハ殆ド數フルニ足ラヌノデアリマス、然ルニ今又對獨軍事條件トシテ斯様な條件ガ課セラレマスルコト云フコトハ、遂ニハ此獨逸ノ海軍ト云フモノハ將來世界ニ於テ殆ド數フルニ足ラナイ貧弱ナ海軍ニナッテ仕舞フコトダト存ジマス、斯様ニナリマシタ後ニ、此列國ノ海軍ノ均勢ト云フモノハ如何ニナルコトデアリマセウカ、之ヲ譬ヘテ見マスレバ、此「テーブル」ガ四本ノ脚デ支ヘラレテ居ルモノガ、一本ノ脚ガ無クナッテ仕舞フトスレバ、此三本脚ノ殘ツタモノデ支ヘルト云フコトニ付テハ、如何ニ此三本脚ヲスグ替ヘタラ宜シイカト云フコトガ將來ノ均勢ヲ保ツ上ニ於テ重要ナル問題ニナルコトト考ヘマス、定メシ帝國ノ講和委員ニ於カレテモ、此邊ノコトハソレト訓令ヲ體サレテ折衝ニナルコトト考ヘマスルガ、世界ノ海軍均勢上ニ由々シキ影響ヲ將來ニ及ボスコトデアリマスカラ、此點ニ付テ政府ノ御所見ヲ伺ヒタウ存ジマス、次ニハ軍器ノ制限ノコトゴザイマス、軍備制限問題ハ曩ニ露西亞皇帝ノ提唱ニ依ッテ開カレマシタ所ノ海牙ノ第一平和會議ニ於テカラ、各國ノ軍備負擔ヲ輕減スル目的ニ於テ、列國間ニ會議ガ開カレマシタガ、當時ニ於キマシテハ所謂偏武主義ナル獨逸國等ガ列國ニ加ッテ居リマシタ爲ニ、且又列

國ノ趨勢モ餘リニ斯様な問題ニ對シテハ熱心ヲ缺キマシタ事柄ヨリ致シテ、遂ニ露國皇帝ノ提唱ニ係リマシタ所ノ軍備制限ト云フ問題ハ一ノ希望案ヲ留ムルニ過ギズシテ了ツタノデアリマス、其當時ニ於キマシテモ、軍備制限ト云フコトガ出來ナケレバ、セメテハ軍器ノ制限デモシテハドウデアラウカ、今日造ツタ兵器ハ明日ハ廢物トナリ、其爲ニ人民ノ負擔スル所ハ莫大トナッテ、遂ニ軍費ノ負擔ニ困難ヲ感ズルコトデアルカラ、出來ルナラ軍器ノ制限位ハ致シタイト云フコトデ會議ヲ進メマシタ所ガ、倍斯様な制限ヲ行ツタ所ガ、將來監督スルコトゴドウシテソレガ出來ルデアラウカト云フ、此監督問題ニ突當ッテ遂ニ軍器ノ制限モ行ハレナカッタノデアリマス、然ルニ時勢ハ變轉イタシマシテ、唯今巴里ノ講和會議デ進行イタシテ居リマスル所ノ國際聯盟、國際聯盟ト申シマスガ如キ、斯様な重大ナル問題ハ、今日ニ於テハ其運命サヘモ如何ニ歸著スルカ分ラヌ際ニ、一國ノ死命ヲ繫グ所ノ軍備制限ノ如キニ至ッテハ、是亦容易ニ協定ヲ見ルコトハ出來ナイコトデアラウト存ジマスガ、勢ノ赴ク所、軍器制限ト云フコトマデ位ニハ必ズ問題ハ進ンデ參ラウト考ヘルノデアリマス、此時ニ至リマシテハ國際聯盟ト云フガ如キ、隨分踏込ンダ所マデ立入ッテ、約束ノ出來サウナコトデアリマスカラ、此監督ト云フガ如キモノハ先年ニ比較シテ大ニ容易ニナッテ來ルノデアラウト存ジマスカラ、是ハ或ハ實現セラレルコトニナラウカト考ヘルノデアリマス、ソコデ此軍器ト申シマスコトハ、是ハ私ハ廣イ意味デ申スノデ、今日軍器ト申シマス中ニハ軍艦モ無論這入ッテ居リマス、此軍器ノ競争ト云フガ如キハ、元來誠ニ愚ナコトデアリマシテカラ、甲ノ國ガ造レバ乙ノ國モ造ル、乙ノ國ガ造レバ丙ノ國モ造ル、斯ウ云フヤウナ工合デアリマシテ、互ニ軍器ノ競争ヲ致ス結果ト致シテ日露戰爭ノ際ニハ一萬噸餘ノ軍艦ハ今日ハ二萬噸ニナリ、三萬噸ニナリ、既ニ四萬噸ト云フ聲ヲ聞クノデアリマス、又大砲ニ致シマシテモ、舊時ノ十二吋ハ十三吋トナリ、十四吋トナリ、十五吋トナリ、今ヤ既ニ十八吋ト云フ聲ヲ聞ク位デアリマス、斯ノ如キ競争ヲシテ參ツタトキニハ殆ド底止スル所ヲ知ラヌノデアリマス、サレバソレダケノ軍艦ガ三萬噸トナリ、大砲ガ十六吋ニナッたら一國ノ勢力ハ増シタカト云フト、チットモソレハ増シテ居ラヌノデアリマス、甲ノ國ガ増セバ乙ノ國モ増シ、丙ノ國ガ増セバ丁ノ國モ増ス、斯ウ云フコトデアリマスカラ、對外勢力ノ比例ト云フモノハ少シモ進ンデ居ラヌノデアリマス、日清戰爭ノ際ノ我ガ軍艦扶桑ノ四千餘噸ノモノハ、今日ノ三

万餘噸ノモノト勢力ノ關係ニ於テハ、外ニ對シテノ比例ト云フモノハ少シモ進シテ居ラス、同ジコトデアリマス、斯クシテ外ニ對スル勢力ノ關係ハ一物モ加ヘルコトナキニ、之ガ爲ニ各國ガ軍備ノ増進ノ爲ニ負擔スル所ノ費用ト云フモノハ二倍ニモ三倍ニモナッテ、今日一艘ノ努級戰艦ヲ造ルニ、今日ノ相場ヲ以テシマスレバ五千万圓ヨリ六千万圓モ掛カルト云フ有様デアリマシテ、斯様ナ趨勢ニアッテハ裕ナル財政ノ國デモ容易ニ之ニ堪ヘルコトハ出來ナイノデアリマス、況ヤ財政ノ裕ナラヌ國ニ於テハ、斯様ナ競争ニハナカク堪ヘヌノデアリマス、若シ此趨勢ヲ自然ノ放棄ニ任シテ置キマストキハ、財政裕ナル強イ國ハ益々強クナリ、弱イ國ハ益々弱クナル、斯ウ云フ關係ニナルト存ジマス、是ハ斯様ニ考ヘマス、此軍器ノ制限ト云フモノガ問題ニナリ

マシタ際ニハ、宜シク考慮スベキ問題ナルノミナラズ、或ハ進シテ提議シテモ宜シイ條件デアルト私ハ考ヘルノデアリマス、斯ク致サナケレバ世界ハ強キモノハ益々強ク、弱キモノハ益々弱ク、遂ニ世界ノ平和ト云フモノハ之ガ爲ニ破ラレルコトヲ恐レルノデアリマスカラ、平和會議ノ目的ト致シマシテ、斯様ナ提議ハ最モ時機ヲ得タモノデアラウト私ハ考ヘルノデアリマス、ソレニ關聯イタシマシテ潜水艇ノコトデアリマス、潜水艇ハ將來軍器トシテ使用スルコトヲ廢スト云フヤウナコトガ問題ニナッテ居ルラシク聞エルノデアリマス、是ハ或ハソナコトガ問題ニナルカ知レヌト思ヒマス、第一ノ平和會議ノ時モ左様ナ問題ガ出マシタガ、列國ノ協定ヲ得ズシテ遂ニ不成立ニ終ツタ

ノデアリマスガ、今度モ潜水艇ノコトニ付テ問題ガ出テ居ルヤニモ聞キマスガ、之ニ對スル我が政府ノ御所見ハ如何デアリマセウカ、元來此潜水艇ト申シマスモノハ、是ハ防禦的武器デアリマス、從ッテ是ハ平和的武器デアル、聞クガ如クバ、英米ノ如キ大海軍ヲ有スルモノハ必シモ此提議ニ反對シナイヤウニ聞エテ居ルノデアリマス、是ハ左様デアリマセウ、立派ナ大海軍ヲ持つテ居ッテ、他ノ追隨ヲ許サヌ所ノ大軍艦ヲ製造モシ、之ヲ維持スルコトモ出來ル國デアリマスカラ、潜水艇ノ如キモノヲ固ヨリ願ル必要ハナイノデアリマス、大海軍ヲ有セザル所ノ列國並ニ地理上斯様ナ武器ヲ必要トスル國ニ取リマシテハ誠ニ大切ナ武器デアリマス、然ルニ此武器タルヤ、攻撃的武器ニアラズシテ平和的武器デアリマスカラ、此見地ヨリ致シテ、此武器ノ使用ト云フコトヲ保留スルコトガ最モ將來ノ平和ヲ維持スルニ足ルモノデアリマス、防禦的軍器ト致シテ適當ナモノデアアル、此意味ニ於テ平和會議ニ於テ……講和會

議ニ於テハ十分此武器ヲ保留スルコトヲ辯護スルコトガ出來ルコトト私ハ考ヘマス、以上ノ要點ニ付キマシテ政府當局ノ御所見ヲ伺ヒタク此壇ニ登ッテ次第デゴザイマス

〔國務大臣加藤友三郎君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(加藤友三郎君) 唯今、阪本男爵ヨリ巴里ノ講和會議ニ於キマシテ、目下審議中ノ問題ニ關シマシテ三點ノ御質問ガアッタノデアリマス、男爵ノ冒頭ニ御述ニナリマシタル通り、此御質問ノ問題ニ對シマシテハ、今日ハ未ダ具體的ニ進行中ノ狀況並ニ是等ノ諸問題ニ關シマシテ政府ノ所見ヲ公言イタスベキ時機ニ達シテ居ラナイノデアリマス、併ナガラ其中申上ゲ得ベキ範圍内ニ於キマシテ、極メテ簡單ニ御答イタシタイト考ヘマス、第一ニ御質問ノ軍艦製造ノ制限、或ハ獨逸ヘ課スベキ制限ト云フガ如クニモ聞エタノデアリマスガ、何レニ致シテモ此問題ハ唯今何等具體的ニ決定イタシテ居ラナイノデアリマス、獨逸ノ有シテ居リマス所ノ艦艇ヲ與國ガ其重ナルモノヲ取上

ゲマシテ、極ク無勢力ノモノガ殘ッテ居ルト云フ御話デゴザイマスガ、大體ニ於テ斯様ナル狀態ニ在ルノデアリマス、併ナガラ與國ガ獨逸ヘ課シマシタ所ノ總テノ艦艇ヲ與國ニ受取りマスニトニ於キマシテハ未ダ終了セザルモノモアルノデアリマス、又今後獨逸ヘ課スベキ制限問題ニ付キマシテモ多少ノ議論ハアリマスケレドモ、如何ナル程度ニ之ヲ課スベキヤト云フコトニ付キマシテハ、マダ具體的ニ申上ゲル時機ニ至ッテ居リマセヌ、從ッテ此問題ニ關シマシテ、他ノ國ガ如何ナル制限ヲ受クベキカト云フコトニ付キマシテモ、今日ハ何等決定イタシタコトハゴザイマセヌ、從ッテ此問題ニ付キマシテ、我が政府ガ如何ナル所見ヲ有シテ居ルト云フコトハ唯今申上ゲマスルコトハ、帝國ニ取ッテ不利ト考ヘマスカラシテ、此以上ハ申上ゲ兼ヌルノデアリマス、國際聯盟中ニ加ヘマシタル所ノ軍備制限問題、或ハ之ニ附帶シテ軍器ノ制限ト云フガ如キコトニ付テノ御話モゴザイマシタガ、是亦何等具體的ニ進行イタシテ居リマセヌ、多少ノ問題ハアルノデアリマス、殊ニ是等ノ諸問題ハ各專門委員ニ於キマシテ審議中ノモノモゴザイマス、最高會議ニハマダ付セラレナイモノモアルノデアリマス、從ッテ是亦是レ以上ニハ何等申上ゲ兼ヌルノデアリマス、潜水艇ノ廢止論モ或ル一部ニハ議ニ上ッテ居ルノデアリマス、是モ專門委員間ノ具體ノ問題トモマダ正式ニハナラナイ狀態ニ在ルノデアリマス、此後如何ニ問題ガ進行イタシマスカト云フコトハ唯今豫測イタシ兼ネマス、

此問題ガ帝國ニ取ッテ廢止ガ宜イカ、惡ルイカト云フコトニ付キマシテハ政府ハ、一定ノ意見ヲ有ッテ居リマス、既ニ委員ノ方ニハ相當ノ内訓ガ致シテゴザイマス、併シ此事柄ヲ唯今公言イタシマスコトハ暫ク差控ヘタイト考ヘマス、ソレダケ御答ヲ致シマス

○議長(公爵徳川家達君) 唯今淺田豫算委員長ノ報告セラレマシタ豫算案全部ヲ一括シテ問題ト致シ、順次採決ヲ致サウト考ヘマス、御異存ゴザイマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 別ニ御發言モ無イト考ヘマスカラ、採決ヲ致サウト存ジマス、先ヅ第一ニ採決ヲ致シマスルノハ大正八年度歳入歳出總豫算追加案第三號、甲號、九頁ヨリ十六頁マデ採決イタシマス、委員會ノ修正ニ同意ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○議長(公爵徳川家達君) 過半数ト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 乙號全部原案ニ御異存ゴザイマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス、次ハ七頁ノ豫算ト云フ所ヲ採決イタシマス、是モ豫算委員會ノ修正ニ對シテ御異存ゴザイマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 次ハ大正八年度各特別會計歳入歳出追加案特第一號、是ハ全部ヲ問題ニ供シマス、全部原案ニ御異存ゴザイマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 此際御諮リヲ致シマスガ、豫算外國庫ノ負擔トナルヘキ契約ヲ爲スヲ要スル件、追第二號ハ、曩ニ議決ニ相成リマシタ大正八年度歳入歳出總豫算追加案第三號ヲ衆議院ニ回付イタシマシタカラ、衆議院ニ於テ同意スルヤ否ヤ未決デゴザイマスカラ、衆議院カラ通牒ノアリ次第議スコトニ致シタラ如何デゴザイマセヌ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ハゴザイマセヌカ……然ラバ御異議ガナケレバ、左様取計ヒマス

○議長(公爵徳川家達君) 次ニ採決イタシマスノハ大正八年度歳入歳出總豫算追加案第四號、全部ヲ問題ニ供シ、全部原案ニ御異存ゴザイマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ガナイト認メマス

〔山脇玄君發言ノ許可ヲ求ム〕

○議長(公爵徳川家達君) 山脇君ハ……

○山脇玄君 是カラチヨット穀物收用令ノ委員會ヲ開キタイト思ヒマスガ

○議長(公爵徳川家達君) 宜シウゴザイマス

○山脇玄君 ソレデヤ此法案ニ關係ノ御方ハドウゾ……

○議長(公爵徳川家達君) 日程第九、第十同一委員ニ付託セラレマシタカラ、御異議ガナケレバ委員長ノ報告ハ一括シテ煩シタイト考ヘマス、日程第九、都市計畫法案、第十、市街地建築物法案、政府提出、衆議院送付、第一讀會ノ續、委員長報告、松木伯爵

都市計畫法案

右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

大正八年三月二十四日

右特別委員長

伯爵松木 宗隆

貴族院議長公爵徳川家達殿

市街地建築物法案

右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

大正八年三月二十四日

右特別委員長

伯爵松木 宗隆

貴族院議長公爵徳川家達殿

〔伯爵松木宗隆君演壇ニ登ル〕

○伯爵松木宗隆君 唯今議題ニナリマシタル都市計畫法案竝ニ市街地建築物  
法案ニ付キマシテ委員會ノ經過竝ニ結果ヲ御報告イタシマス、兩案トモ重要  
ナル案デアリマスルカラ、委員會ニ於キマシテハ慎重ニ審議ヲ盡シタルコト  
デアリマシテ、採決ノ結果、兩案トモ全會一致ヲ以テ可決ニ相成リマシタ  
デゴザイマス、便宜上兩案ヲ束ネテ御報告ヲ致シタイト存ジマス、質問應  
ハ數多ゴザイマシタガ、逐條ニ涉ル質問ハ省略イタシマシテ、唯大體ニ付テ  
ノ御報告ヲ致シタイト存ジマス、此都市計畫法案ハ市區改正條例ヲ根本トシ  
テ、改正シテ制定サレタノデアリマスルカラ、其改正ノ重ナル點ヲ二三舉  
マスレバ、第一ハ都市計畫ヲ接續町村ニ互ッテ地域ノ設定ガ出來ルコトナリ  
マシタ、第二ハ市區改正條例ニハ買收ノ場合ニハ特別ノ便法ガ設ケテアリ  
マシタ爲ニ、之ガ爲ニ色々無理ナコトヲ生ジ、屢々苦情ヲ生ジタノデアリ  
マス、今日ノ時代ニ於テ斯ノ如キ便法ヲ取ルト云フコトハ時代ノ思想ニ副  
セスカラシテ、個人ノ私權ヲ保護スル上ニ於テ總テ土地收用法ニ依ッテ收  
用審  
査會ノ審査ヲ經ルト云フコトニ改メラレタノデアリマス、第三ハ住居地、商  
業地、工業地ト云フ三地域ヲ設定シ、又必要ナルトキハ風致、風紀ノ地區  
ヲ設定スルコトヲ得ルコトナリマシテ、即チ東京ハ東京ラシク形造ラ  
ト云フコトニナッタノデアリマス、第四ハ御承知ノ通りニ是マデ市區改正  
ノ道路擴張ノ場合ニハ、唯買上ゲルト云フダケニ過ギナカッタノデアリ  
マス、本案ニ依リマシテ沿道ノ土地又ハ家屋所有者ニ對シテ建築地ヲ與  
ヘルト云フ便法ヲ開カレタノデアリマス、以上ガ改正ノ重ナル點デゴ  
ザイマス、ソ  
コデ委員ノ質問ニ對シマシテ政府委員ノ御答辯ニ依リマスレバ、内務省ニ  
中央委員會ヲ設ケ、今一ツハ東京ニ係ル地方委員會ヲ設ケラル、ノ  
デ、即チ  
内務省ニ中央地方ノ二ツノ委員會ガ設ケラレ、而シテ此委員ハ關係ノ官  
衙、  
市ノ當局者、學術經驗アル市民ヲ參加シテ組織サレルト云フコト  
デアリマス、  
而シテ地方委員會ハソレトシテ、又是ノ例ニ依ッテ組織サレルノ  
デアリマシテ、地  
方委員會ノ決議ヲ根本トシテ、サウシテ地方委員會ハ中央委員會ノ認可ヲ受  
ケテ進行シテ行クト云フコトニナルサウデアリマス、又或ル委員ヨリシテ軍  
事上ニ付テ此都市計畫ノ考ヲ聽イタカト云フ質問ガアリマシテ、ソレニ對シ  
マシテ、本案制定ノ時ニ既ニ陸海軍ノ意見ヲ聽イテ極メタコト  
デアルサウデ  
ス、其場合ニ飛行機モ問題ニナッタコトデアリマスルガ、併シ尙ホ都市計畫委

員ニハ陸海軍ノ代表者モ及建築家モ這入ルコトデアリマスルカラ、是等ノ軍  
事上ノ點ニ付キマシテハ相當ナル考案ヲ案出セララルデアラウト云フコト  
デアリマシタ、ソレカラ或ル委員ヨリ何故ニ此兩案ヲ急グカト云フ質問ガアリ  
マシテ、此急グコトニ付テハ詳シク説明サレタノデアリマシテ、元來此計畫  
法ナリ建築法ナリハ既ニ各國ノ都會ニ於テ良好ナル效果ヲ舉ゲツ、アルノ  
デアリマシテ、我國ニ於テモ御承知ノ如ク近來非常ナ勢ヲ以テ都會ノ發達、郊  
外ノ發展シ來ルコトデアリマスルカラシテ、今日ハ最早議論ノ上ヨリモ實際  
上ニ於テ此制定ノ必要ニ迫ラレテ居ルト云フコトデアリマス、ソコデ六大都  
市ノ人口ノ増加、戶數ノ増加、又ハ接續町村ノ人口戶數ノ増加ト云フコト  
ニ付テハ色々ト統計ヲ示サレタノデアリマス、殊ニ東京府ノ如キハ大正七年度  
ニ於テ千六百ト云フ工場ガ新ニ新設セラル、ト云フ形勢デアリマスルカラ、今  
ノ中ニ於テ此地域ナリ又ハ建設法ナリノ制定ヲ急グト云フコトハ、此實況カ  
ラ己ムラ得ザルコトデアアツテ、現ニ六都市ニ於キマシテモ既ニ此下準備ヲ整  
ツ、アルノデアリマスルカラ、本案ノ制定發布ヲ非常ニ希望シテ居ル次第デア  
ルト云フコトデアリマシタ、次ニ建築物法案ハ都市計畫法案ト兩々相俟テ都  
市計畫ノ實效ヲ奏セムトスルモノデアリマスルカラ、建築物ト地域ノ關係、建築  
物ト道路ノ關係、建築物ノ構造ト云フヤウナル點ニ對シテ細カク規定ヲサ  
レ  
タノデアリマス、是モ逐條ニ涉リマス質問ハ省略イタシマシテ、唯二三申上  
ゲタイト存ジマス、都市計畫法案ハ先ヅ東京、京都、大阪、橫濱、神戸ト云  
フ六ツニ限ラレテアリマスガ、此建築法案ハ六都市以外ニモ適用セラル、  
ノ  
デアリマス、ソレハ例ヘバ新開地ニ於キマシテ非常ナル發展ヲ爲ス所ニ於キ  
マシテ、將來ノ爲ニ圖ッテ適當ナリト考ヘルトキニ建築法ダケハ適用セラル  
コトニナルノデアリマス、又委員ノ一人ヨリドウ云フヤウニシテ此建築法ヲ  
改メテ行クカト云フ問ニ對シマシテ、無論急激ニヤルト云フコトハ財政上  
不  
可能ノコトデモアリマスルシ、唯公安上、衛生上非常ニ害ヲ及ボスト云フモ  
ノ  
ダケハ移轉セシメテ、アトハ程度ノ問題デアリマスガ、ソレ程デナイモノ  
ハ  
改築増築ノ場合ヲ圖ッテ、漸次各地區ニ移轉ヲセシムルト云フコトデアリ  
マ  
シタ、委員會ニ於キマシテハ數多ノ希望ガ出タノデアリマス、第一ニハ假ニ  
名  
ヅケマシテ常識委員ト云フヤウナコトニ付テ希望ガ出タノデアリマス、其  
委員ノ方ヨリ實驗上ヨリシテ此希望ガ出タノデアリマシテ、ソレハ内務省ノ  
委員ノ方ハ是ハ皆常識ニ富ンダ知名ノ方デアリマスルカラ、之ヲ言フノ

デナクシテ、此委員會ノ決議ヲ實行スル所ノ役員ト云フモノガ往々常識ヲ缺ク者ガ多キ爲ニ、是等ノ者ト市民トノ間ニ於テ、市區改正ノ場合ノ如キ往々苦情ガ百出シ、サウシテ人民怨嗟ノ聲多シト云フヤウナコトヲ屢、目撃シタノデアアル、所謂上意下達セズ、下意上達セズト云フヤウナ、此實行委員ガ常識ヲ缺クガ爲ニ一ツノ障礙ヲ起スト云フコトデアリマスルカラ、是等ノ弊害ニ鑑ミテ將來此都市計畫法ナル大事業ヲ遂行セムトスルニ於テハ、是等ノ實行案ハ宜シクモウ少シク常識アルモノヲシテ丁寧ニ人民ト接觸セシメ、人民ノ意思ヲ疏通シテ行キ、以テ圓滿ニ此大事業ヲ進行セムコトヲ望ム、付テハ何トカシテ此假ニ名ツケタル常識委員ト云フモノノ方法ヲ講ジテ貫ヒタイト云フヤウナ希望デアリマシタ、政府モ此點ニハ同感デアリマシテ、精々注意ヲ拂フコトニ……市ガ主トナルコトデアアルカラ、市ガソレ等ノ役人ヲ選任スル場合ニハ成ルベク此御希望ヲ達スルヤウニ傳ヘルト云フコトデアリマシタ、次ハ手續ノ上ニ付テ希望ガ出タノデアリマス、ソレハ書類ノ手續ハ成ルベク簡便法ヲ執ツテ、今日ノ時代ハ最早繁文縟禮ノ弊害ハ既ニ何人モ認メテ居ルノデアアルカラシテ、迅速ニ人民ノ便利ヲ圖ツテ、殊ニ經濟上ノ活動ヲ妨ゲザルヤウニ此手續ト云フモノハ最モ簡捷ナル方法ヲ執ツテ貫ヒタイト云フ希望デアリマシタ、政府モ人民ノ迷惑ニナラザルヤウ努メテ便利ナル手續ニ依ツテ、例ヘバ細カイコトハ届ケ放シデズン、抄取ル方法ヲ執ツテ行クト云フコトデアリマシタ、今一ツハ免角政府ノサレル方面ニハ、政府ノ方ニ義務ガナイニ、人民ニ向ッテ命令スルコトハ甚ダ強ク執行セラレルケレドモ、政府所管ノ工事ナリ、又建物ナリニ付テハ甚ダ怠慢ヲ見ルノデアアルカラシテ、此點ハ此際餘程政府ニ於テモ注意ヲシテ貫ヒタイ、例ヘテ見レバ神戸ノ真中ヲ通ル鐵道ノ如キ、交通上ノ危険ヲ顧ミズシテ最急行列車ヲ通スト云フガ如キ、又例ヘバ市中ニ電柱……電話ノ柱ガ市ノ交通ヤ美觀ヲ顧ミズシテ林ノ如ク勝手ニ立テラレルト云フガ如キ、是等ハ人心ニ不愉快ヲ與ヘ、且ツ不公平ト云フ念慮ヲ抱カシムルコトデアアル、斯ウ云フ惡感ヲ抱カスト云フコトハ政治上考慮ヲスベキコトト信ズルカラ、所謂人ヲ正サムトセバ己先ツ正シウセザルベカラズデアツテ、此建築法第十三條ノ如ク、個人ニ向ッテ色々ノ費用ノ掛カルコトヲ命令ヲシテ、サウシテ實行セムトスルナラバ、國家モ亦自ラ爲スベキコトヲ怠ラザルヤウ、即チ其所管ニ屬スル建物ナリ若クハ工事ナリニ付テモ、此際一層反省シテ處置アラムコトヲ望ムト云フ御議論デ、且ツ最モ強イ御希望デアリ

マシタ、政府ハ此趣旨ヲ了承セラレマシテ、官廳ノ建物又ハ工事等ニ付キマシテハ、此計畫ノ下ニ矢張り同ジクヤッテ行ク積リデアアル、御希望ニハ漸次副フヤウニ努メル積リデアアルト云フ御答辯デアリマシタ、儲此二ツノ計畫ハ誠ニ立派デアリマシテ、何人ガ之ヲ見テモ贊スルニ吝ナラザル所デアリマスガ、併ナガラ果シテ良好ナル效果ヲ奏スルヤ否ヤハ、一ノ財源ノ問題ニ歸著スルノデアリマスカラ、各委員ノ方ニハ此財源ノ點ニ於テ色々ト苦慮セラレタノデアリマス、ソコデ或ル委員ノ方ハ其閱歷上ヨリシテ、例ヘバ河川ノ整理築港ノ改築等ヲナシテサウシテ一方ニハ市民ノ負擔ヲ輕減シテ往キ、又一方ニハ強制的ニ勞働保險火災保險ヲナシテ、其保險金ノ援助ニ依ッテ家屋ノ改築ノ資ニ供スルト云フヤウナ御話モアリマシタ、又土地増加税入市税ト云フヤウナル御話モアリマシテ、此財源ノ點ニ付テハ色々ト御話ガアッタノデアリマス、併ナガラ結局都市ノカデハ出來ナイコトデアリマスルノミナラズ此計畫事業ノ中ニハ國家の性質モ含マレテ居ルノデアリマスカラシテ、政府ニ於テモ此事業ニ向ッテハ多大ノ努力ヲ間接的ナリ、直接的ナリ、物質的ナリ、精神的ナリニ於テサウシテ此大事業ヲ遂行スルニ於テ政府ガ十分ナル援助努力ヲ與ヘラレムコトヲ望ム、財源ノ點ハ斯ノ如ク政府モ市民モ、共ニ是ハ一致シテ掛ラネバ此大事業ノ遂行ハ甚ダ懸念ニ堪ヘナイノデアアルカラシテ、ドウカ政府ニ於テモ最モ奮發シテ力ヲ添ヘラレムコトヲ望ムト云フコトハ、委員會ニ於ケル輿論デアリマシタ、ソコデ政府ハ此委員會ノ輿論ニ副フベク、出來得ル限り國庫トモ協議ヲナシ、又其他ノ方面ニ於テモ、出來ルダケ援助ヲナシテ、サウシテ共ニ此成功ヲ禱ルト云フコトデアリマシタ、終ニ此都市計畫法第十五條ニ對シマシテ、委員會ノ決議トシテ左ノ希望條件ガ成立ッタノデアリマスル「第十五條、土地區劃整理施行シタル土地ノ地價ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ之ヲ定ム」之ニ對シマシテ「右ハ地租條例ニ依リ地價ノ修正ヲ要スル場合ニ限り地價ヲ修正スルノ趣意ヲ以テ勅令ヲ規定セラレムコトヲ望ム」是ガ委員會ノ決議文デアリマス、ソレハ第十五條ノ規定ヲ見マスルト土地區劃整理ヲ施行シタル土地ノ地價ハ勅令デ如何ヤウニモ決メラル、ヤウニ見エマスルカラ、斯クテハ地租條例ノ規定ニ反シ、他ノ規定ト權衡ヲ失フコトニナリマス、故ニ地價ニ關スル一般原則タル地租條例ノ精神ニ依リ、同條例ニ於テ地價ヲ修正スル必要アル場合ニ限り、地價ノ修正ヲ爲スヤウニ勅令ヲ決メテ貫ヒタイト云フコトデアリマシタ、此點ニ付キマシテハ紆餘曲折、質問ヲ重ネラレタノ

デアリマシタガ、結局政府ハ此希望ヲ容レラレテ此通りニ爲スト云フ言明デアリマシタ、依ッテ委員會ハ此言明ニ信賴シテ、サウシテ本案ヲ可決ト云フコトニ相成リマシタコトデゴザイマス、此段兩案ニ付キ御報告ヲ申上ゲマス、尙ホ御質問ガアリマスレバドウカ政府委員へ願ヒタイト存ジマス

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ガナケレバ兩案共ニ束ネテ問題ニ供シマス  
〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 兩案ノ第二讀會ヲ開ク事ニ御異存ゴザイマセヌカ  
〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス  
○男爵阪谷芳郎君 直チニ第二讀會ヲ開カレムコトヲ……

○子爵榎本武憲君 賛成  
○伯爵松木宗隆君 賛成

○議長(公爵徳川家達君) 直チニ兩案ノ第二讀會ヲ開イテ御異存ゴザイマセヌカ  
〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 兩案全部ヲ問題ニ供シマス、原案ニ御異存ゴザイマセヌカ  
〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○男爵阪谷芳郎君 直チニ第三讀會ヲ開カレムコトヲ……

○子爵榎本武憲君 賛成  
○男爵山中信儀君 賛成

○議長(公爵徳川家達君) 直チニ兩案ノ第三讀會ヲ開イテ御異存ゴザイマセヌカ  
〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 兩案共ニ第二讀會ノ決議通りテ御異存ゴザイマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕  
○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス、此際都合ニ依リマシテ再ビ休憩ヲ致シマス  
午後二時五十五分休憩

午後四時十四分開議

○議長(公爵徳川家達君) 報告ヲ致サセマス  
〔成瀬書記官朗讀〕  
本日本院ニ於テ可決シタル左ノ政府提出案ハ直ニ裁可ヲ奏請シ又可決ノ旨ヲ衆議院ニ通知セリ

大正八年度各特別會計歳入歳出豫算追加案(特第一號)  
大正八年度歳入歳出總豫算追加案(第四號)

本日本院ニ於テ修正議決シタル左ノ政府提出案ハ直ニ之ヲ衆議院ニ回付セリ

大正八年度歳入歳出總豫算追加案(第三號)  
本日特別委員會ニ於テ當選シタル正副委員長ノ氏名左ノ如シ

農會法中改正法律案特別委員會  
委員長 伯爵廣澤 金次郎君 副委員長 原 保太郎君  
本日特別委員長ヨリ左ノ報告書ヲ提出セリ

司法代書人法案可決報告書  
借地法案否決報告書

本日衆議院ヨリ本院ノ回付ニ係ル左ノ政府提出案ハ本院ノ修正ニ同意シ奏上セル旨ノ通牒ヲ受領セリ  
大正八年度歳入歳出總豫算追加案(第三號)

○議長(公爵徳川家達君) 是ヨリ先刻ニ引續キマシテ開會イタシマス、諸君ニ御諮リヲ致シマス、先刻決議ヲ留保イタシマシタ豫算外國庫ノ負擔トナルヘキ契約ヲ爲スヲ要スル件、追第二號ノ會議ヲ、議事日程ヲ變更イタシマシテ此際開キマシテ御異存ゴザイマセヌカ  
〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス、全部ヲ問題ニ供シマス、

全部委員長ノ報告ニ御異存ゴザイマセスカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 阿片法中改正法律案、政府提出、衆議院送付、第一讀會ノ續、委員長報告、兒玉伯爵

阿片法中改正法律案

右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

大正八年三月二十四日

右特別委員長

伯爵兒玉 秀雄

貴族院議長公爵徳川家達殿

〔伯爵兒玉秀雄君演壇ニ登ル〕

○伯爵兒玉秀雄君 唯今議趣ニナツテ居リマス阿片法中改正法律案ノ委員會ノ經過竝ニ結果ヲ御報告イタシマス、政府ノ説明ニ依リマスルト云フト、帝國政府ハ阿片ノ問題ニ付キマシテハ、維新以前ヨリ夙ニ嚴禁主義ヲ執リ來ッタノデアリマス、爾來時勢ノ進運ニ應ジマシテ、度々此改正ヲ加ヘテ其取締ノ方法ニ改善ヲ加ヘ來ッタノデアリマスルガ、今日行ハレテ居リマスル所ノ現行法ハ即チ是デアリマス、政府ハ單ニ國內ニ於キマスル阿片ノ取締ニ關シテ嚴禁主義ヲ厲行シ來リマシタルノミナラズ、千九百九年ニ於キマスル上海ニ於テ開催セラレマシタル國際阿片會議ニ於キマシテモ、又千九百十四年ノ海牙ニ於キマスル第二回國際阿片會議ニ於キマシテモ、阿片嚴禁ノ主義ニ賛成ヲ致シマシテ、就中隣邦支那ニ於キマスル阿片ノ生産竝ニ消費ヲ根絶スルト云フコトニ付キマシテモ、直接又ハ間接ニ努力ヲシツ、アッタノデアリマスル、殊ニ最近ニ至リマシテ青島竝ニ關東州ニ於キマスル阿片制度ニ一大變革ヲ加ヘムトスル計畫ノアル事柄ハ、曩ニ總理大臣ノ宣明セラレマシタル所デアリマスルノデ、既ニ諸君ノ御承知ノ通りデアリマス、此阿片法ノ改正ナルモノハ、阿片ニ對シマスル對外政策ト伴ヒマシテ、近時國內ニ於キマスル阿片ニ伴フ所ノ弊害ヲ除キ、竝ニ是ガ普及ヲ圖リマスルガ爲ニ改正ノ必要ヲ生ジテ來タノデアリマスル、委員會ニ於キマシテハ阿片政策ニ對シマスル大體ノ政府ノ意ヲ諒トシタノデアリマスル、次イデ逐條ニ涉リマシテ此審議ヲ進メタ

ノデアリマスル、此時局ノ勃發以來内地ニ於キマスル阿片ノ實況ハ一大變化ヲ來タシタノデアリマスル、ソレハ海外ヨリ參リマスル阿片ノ輸入ガ困難ニナリマシタノニ伴ヒマシテ、阿片ノ市價ガ非常ニ暴騰イタシマシテ、爲ニ醫術竝ニ衛生上由々シキ大事ヲ惹起シテ居ルノデアリマスル、ノミナラズ現行阿片法ノ不備ニ乘ジマシテ、不正ナル手段ニ依リマシテ密輸出ガ行ハル、所ノ形迹ノ顯然タルモノガアルノデアリマスル、是等ノ弊害ヲ除キマスルガ爲ニ阿片法ノ改正ヲ行フノ必要ヲ認メタノデアリマスル、是レ單リ國內ニ於キマスル取締ノ必要カラ生ジタノミナラズ、由來帝國政府ガ國際阿片會議ニ贊同イタシマシテ其趣旨ヲ尊重スル上ニ於テモ甚ダ遺憾ニ感ジマシタルノニ原因スルノデゴザイマスル、阿片法ノ改正ノ要點ハ、第一ニ於キマシテ原則ト致シマシテ、阿片ノ輸出ヲ嚴禁シタノデアリマスル、第二ニ於キマシテ、從來弊害ノ原因デアリマスル所ノ藥種商、藥劑師、相互ノ間ニ行ハレツ、アル所ノ零賣ヲ禁止シタノデアリマスル、第三ニ於キマシテハ市價ノ暴騰ヲ防ギマスガ爲ニ、價格ノ一定ヲ期シタノデアリマスル、第四ニ於キマシテハ、是等ノ條項ニ違反スル者ノ制裁ヲ嚴重ニシタノデアリマスル、是等ノ改正ヲ施シマシテ、阿片嚴禁主義即チ阿片ニ對スル國是遂行ヲ期スルト云フ事柄ガ、阿片法改正ノ精神デゴザイマス、逐條ニ付キマシテ質問應答ヲ重ネタルノミナラズ、事外交ニ涉リマスル事柄ニ付キマシテハ、特ニ秘密會ヲ開キマシテ、腹藏ナキ意見ノ交換ヲ遂ゲタノデゴザイマスル、其結果委員會ニ於キマシテハ、本改正ハ誠ニ時機ヲ得タルモノデアルトシテ、滿場一致ヲ以テ可決サレタノデアリマス、右様ノ次第デゴザイマスカラ、ドウゾ本案ニ付キマシテ御贊同ヲ願ヒタイト思ヒマス

○議長(公爵徳川家達君) 別ニ御發言モ無イト認メマスカラ採決ヲ致シマス、本案ノ第二讀會ヲ開クニ御異存ゴザイマセスカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○伯爵兒玉秀雄君 直チニ二讀會ヲ開カレムコトヲ希望シマス

○男爵石黒忠直君 賛成

○議長(公爵徳川家達君) 直チニ本案ノ第二讀會ヲ開イテ御異存ゴザイマセスカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 全部ヲ問題ニ供シマス、全部原案ニ御異存ゴザイマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○伯爵兒玉秀雄君 直チニ第三讀會ヲ開カレムコトヲ希望シマス

○男爵石黒忠恵君 賛成

○議長(公爵徳川家達君) 直チニ本案ノ第三讀會ヲ開イテ御異存ゴザイマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 第二讀會ノ決議通りデ御異存ゴザイマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 大正四年法律第十六號中改正法律案、政府提出、衆議院送付、第一讀會ノ續、委員長報告、樋口子爵

大正四年法律第十六號中改正法律案

右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

大正八年三月二十四日

右特別委員長

子爵樋口 誠康

貴族院議長公爵徳川家達殿

〔子爵樋口誠康君演壇ニ登ル〕

○子爵樋口誠康君 唯今議題ニ上リマシタ所ノ大正四年法律第十六號中改正法律案ノ委員會ノ經過並ニ結果ヲ御報告イタシマス、委員會ハ一昨二十四日午後正副委員長ノ選舉ヲ行ヒ、直チニ開會イタシマシタ、五六ノ質問ノ後極ク簡單ナル案デアリマスカラ、直チニ全會一致ヲ以テ可決イタシマシタ、其質問應答ノ要旨ヲ簡單ニ綜合シテ申上ゲマスレバ、大正四年法律第十六號ヲ以

チマシテ、政府ハ昨年二千四百万圓ヲ限リ五分利公債ヲ發行イタシテ一時賜金トシテカラニ青島戰役マデノ見込額ヲ以テ要求ヲ致シマシタ、然ル所此要求ノ中カラ四百万圓ハ剩餘金ニ剩ッタノデゴザイマス、而シテ今回ノ總額ハ其後ノ戰役行賞ニ充ツル爲ニ金額ヲ要求イタシマシテ、是ハ陸軍ニ於キマシテハドウ云フ者ニ充テルカト申シマスルト、出征者並ニ内地ノ勤務ノ者、ソレハ昨年ノ十二月歸郷スベキ者、又本年ノ未滿期ニナルベキ者、及豫後備兵ノ徵集解除ニナル者、大正三四年後ノ守備勤務ノ者、將校ニシテ約千人餘、准士官下士ニ於テ四千五百人餘、兵卒ニ於テハ十六万六千餘人、合計陸軍ニ於キマシテハ十五万一千五百餘人、此賜金ノ總額二千九百六十九万餘圓ニナリマス、又海軍ニ於キマシテハ大正六年二月カラ大正九年ノ三月マデ現役ヲ離レテ歸郷スベキ者ニ給スルノデアリマシテ、其人員ハ一万九千人、是ガ賜金ノ額ハ四百三十五万四千餘圓ニナリマス、此兩省ヲ合計イタシマスルト、三千四百万圓ニナルノデアリマス、然ルニ前申上ゲマシタ如ク、四百万圓ト云フモノハ不用額ニナツテ居リマスカラ、ソレヲ今回用ヒマシテ新ニ三千万圓ヲ増加シタノデアリマス、即チ本法ヲ五千四百万圓ト改メタ次第デアリマス、右様ナ簡單ナ案デゴザイマス故ニ、又今日ノ場合已ヲ得ザル案ト考ヘマス、殊ニ會期モ切迫イタシテ居リマスカラ、茲ニ私ハ讀會省略ノ動議ヲ提出イタシテ置キマス、御賛成アラムコトヲ希望シマス

○子爵稻垣太祥君 賛成

○子爵青木信光君 賛成

○子爵八條隆正君 賛成

○子爵前田利定君 賛成

○子爵伊集院兼知君 賛成

○子爵西大路吉光君 賛成

○男爵村上敬次郎君 賛成

○加太邦憲君 賛成

○男爵内田正敏君 賛成

○阪本鈺之助君 賛成

○議長(公爵徳川家達君) 讀會省略ノ動議ニ同意ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○議長(公爵徳川家達君) 三分ノ二以上ト認メマス、原案ニ同意ノ諸君ノ起

立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○議長(公爵徳川家達君) 過半数ト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 大正五年度歲入歲出總決算、大正五年度各特別會計歲入歲出決算報告、會議、委員長報告、大木伯爵

大正五年度歲入歲出總決算並大正五年度各特別會計歲入歲出決算及既往年度檢査未確定金額ノ檢査確定シタルモノヲ審査スルニ

第一

大正五年度各特別會計歲入歲出決算大藏省所管帝國鐵道收益勘定歲出第一款鐵道作業費第一項事業費中鐵道院ノ支出ニ係ル件

大正五年度各特別會計歲入歲出決算大藏省所管朝鮮總督府歲出臨時部第九款鐵道建設及改良費第二項改良費中朝鮮總督府鐵道局ノ支出ニ係ル件

大正五年度各特別會計歲入歲出決算大藏省所管臺灣總督府歲出臨時部第一款特別事業費第一項水利事業費中臺灣總督府、臨時臺灣總督府工事部及阿緞、臺南兩廳ノ支出ニ係ル件

同上臺灣官設鐵道用品資金歲出第一款鐵道用品費第一項鐵道用品費中臺灣總督府鐵道部ノ支出ニ係ル件  
右ハ政府ノ措置穩當ヲ闕クモノト認ム

第二

大正五年度歲入歲出總決算歲入經常部第一款租稅第一項地租中空知稅務署ニ於テ徵收不足ニ屬スル件、第二項所得稅中館林稅務署、東稅務署、唐津稅務署、札幌稅務署、長崎稅務署、龜戶稅務署、厩橋稅務署、直方稅務署、米子稅務署、高崎稅務署、品川稅務署及熊本稅務署ニ於テ徵收不足ニ屬スルモノ十四件、板橋稅務署、神戸稅務署、龜戶稅務署、兩國橋稅務署、福島稅務署、長崎稅務署及橫濱稅務署ニ於テ徵收過ニ屬スルモノ七件、橫濱稅務署ニ於テ收入濟額ニ編入セザリシ件、神田橋稅務署ニ於テ徵收ニ至ラザリシ件、第三項營業稅中熊本、長崎、白杵各稅務署ニ於テ徵收ニ係ル件神田橋稅務署及板橋稅務署ニ於テ徵

收過ニ屬スルモノ二件、東稅務署、神田橋稅務署、鳥取稅務署、沼津稅務署及永代橋稅務署ニ於テ徵收不足ニ屬スルモノ六件、第四項相續稅中南稅務署ニ於テ徵收不足ニ屬スル件、幸橋稅務署ノ徵收ニ係ル件  
大正五年度歲入歲出總決算歲出臨時部農商務省所管第四款國有林野經營費第二項事業費中秋田大林區署ノ支出ニ係ルモノ二件

大正五年度歲入歲出總決算歲出臨時部遞信省所管第四款營業費第一項新營費、第五款電話交換擴張費第二項事業費中遞信省ノ支出ニ係ルモノ二件

大正五年度各特別會計歲入歲出決算大藏省所管帝國鐵道資本勘定歲入第二款鐵道用品及工作收入第一項用品及工作收入中鐵道院ノ徵收ニ係ルモノ二件

同上收益勘定歲入第一款鐵道作業收入第二項雜收入、同上資本勘定歲入第一款鐵道資金收入第三項雜收入、第二款鐵道用品及工作收入第二項雜收入中鐵道院ノ徵收ニ係ルモノ三件

大正五年度各特別會計歲入歲出決算大藏省所管朝鮮總督府歲出經常部第四款警務費第二項廳費、第四項留置人費、第五項衛生及防疫費中朝鮮總督府警務總監部ノ支出ニ係ルモノ三件

大正五年度各特別會計歲入歲出決算大藏省所管臺灣總督府歲出經常部第十六款專賣局第三項事業費、歲出臨時部第二款事業費第五項新營費中臺灣總督府專賣局ノ支出ニ係ルモノ二件

臺灣總督府ニ於テ倉庫業經營ノ委託ヲ名トシ官有財產ノ無料貸付ヲ爲シタル件  
大正四年度歲入歲出總決算歲入經常部第三款官業及官有財產收入第二項森林收入中青森大林區署ニ於テ徵收ニ係ル件

大正四年度歲入歲出總決算歲出經常部農商務省所管第三款森林費第六項事業費、同上歲出臨時部農商務省所管第四款國有林野經營費第二項事業費中青森大林區署ノ支出ニ係ルモノ二件

右ハ政府ニ對シ將來ノ注意ヲ促スヘキモノト認ム  
第三

其ノ他異議ナシ  
右及報告候也

大正八 三月二十四日

決算委員長  
伯爵大木 遠吉

貴族院議長公爵徳川家達殿

〔伯爵大木遠吉君演壇ニ登ル〕

○伯爵大木遠吉君 決算ノ御報告ヲ申上ゲマス、決算委員會ハ慎重ニ審議ヲ重ネマシテ、各分科ニ於テモソレハ慎重ニ審議ヲ致シマシテ、結局委員會總會ニ於キマシテ分科ノ報告通りニ可決イタル次第ゴザイマス、其内容ノ一二ヲ御報告イタサウト思ヒマス、要スルニ此大正五年度ノ決算ニ於キマシテハ、會計検査院ノ指彈事項ガ極メテ少カッタノデアリマス、不當決算ノ如キ決議ニ至リタルモノ一件モナキコトハ御同慶ノ至デアルト思フノデアリマス、併ナガラ政府ノ措置穩當ヲ闕クモノト認ムト云フ決議ガアリマシタノガ四件アリマシテ、ソレハ大藏省所管ノ中鐵道院ノ支出ニ係ルモノ、同じ朝鮮總督府鐵道局ノ支出ニ係ルモノ、臺灣總督府、臨時臺灣總督府工事部及阿緞臺南兩廳ノ支出ニ係ルモノ、同シク臺灣總督府鐵道部ノ支出ニ係ルモノ、此四件ガ政府ノ措置穩當ヲ闕クモノト認メタノデアリマス、ソレカラ政府ニ對シ將來ノ注意ヲ促スベキモノト認メマシタ件ガ、大正五年度經常臨時部及特別會計大正四年度ノ經常部、之ヲ悉ク綜合イタシテ、總計ガ五十三件アッタノデアリマス、多クハ徵稅ノ不足デアルト云フヤウナモノガ多イノデアリマス、是ハ措置穩當ヲ闕クモノト認ムト云フ箇條ヲ適用スルニハ及バスト認メマシテ、將來ノ注意ヲ促スベキモノト認ムト云フ決議ニ相成ッタル次第デアリマス、其他ハ異議ナシ、斯様ナコトニナッタノデアリマス、要スルニ此決算ノ報告ハ甚ダ從來ノ例ニ徴シマシテ極メテ違法事件ガ少イト云フコトヲ御報告スルニトハ甚ダ欣幸ノ次第デアリマス、而シテ其違法事件ノアリマス所ノ所管ハ大藏省、農商務省、遞信省、此三省デアリマシテ、殘ル所ノ内務、外務、司法、陸海軍、文部、是ダケニハ會計検査院ノ指彈事項ガ一件モナカッタト云フコトハ甚ダ良好ナル成績デアルト申サネバナラス、斯様ニ漸次指彈事項ノ減ル兆候ガアルト云フコトヲ聽キマシテ、決算委員會ハ甚ダ之ヲ喜ンダ次第デアリマス、併ナガラ未ダ俄ニ喜ベカラザルコトガアルノデアリマス、唯、是ダケヲ見マスルト、甚ダ良好ナル成績デアッタト云フヤウナ觀念ガ起リマスガ、退イテ熟ク此會計検査院ノ内容ヲ熟視スルニ至ッテ甚ダ尙ホ容易ニ安心スベカ

ラザルコトガアルト云フコトヲ發見シタノデアアル、ソレハ文部ニモ多少アリマスガ、農商務ニモ多少……大ニアリマス、其他諸所ニアリマス、是等ハ會計検査院ガ未ダ検査ガ未了デアルガ故ニ後ニ繰殘シタノデアリマシテ、其中ニモ別シテ農商務省所管ノ中ニ於テ、製鐵所ニ於テ二千四百七十萬圓ト云フ巨額ノモノガ未了ノ儘殘ッタ次第デアリマス、由來製鋼所ノ如キハ天下ニ於テ伏魔殿ノ綽名ガアル位デアリマシテ、是ガ検査ノ結果違法事件ガナカッタト云フコトノ報告ヲ得マシタナラバ、初メテ茲ニ於テ頗ル賀スベキ傾向デアルト云フコトヲ言ヒ得ルデアリマセウガ、此大ナルモノガ検査未了ノ儘殘ッタ次第デアリマスカラ、未ダ俄ニ成績良好ヲ以テ政府ノ當局ヲ頌スルコトハ出來ナイノデアリマス、右ハ決算委員會ニ於ケル經過ノ概要デアリマシテ、其詳細ハ會計検査院ノ報告書ニ詳細ニ記載シテアリマスルカラ、敢テ冗辯ヲ費サナイノデアリマス、尙ホ附加ヘテ申上ゲマスルガ、是ハ例年ノ例デアリマスルカラ事新シク申スマデモナイコトデアリマスガ、常ニ決算ノ書類ノ提出ガ、政府ノ故意カ偶然カ知ラスガ何時モ後レテ困ルノデアアル、相成ルベクハ此豫算ヲ豫算委員會ニ於テ審査スル時ニ其決算ノ成績如何ト云フコトガ頗ル參考ニ値スルモノデアラウニ、悲シイ哉決算ノ提出ハ何時モ會期切迫ノ時ニ提出サレルガ故ニ、以テ豫算ノ審査ノ參考ノ料ニ資スル能ハザルノハ甚ダ遺憾デアアル、殊ニ會期ガ切迫シテ法案ノ頻出スル時ニ於テ斯様ナモノヲ出サレルト云フコトハ、蓋シ故意デハアルマイガ甚ダ以テ困ル次第デアルカラ、以來早ク提出スルヤウニト云フコトヲ委員會ニ於キマシテハ當局ニ請求シマシタ所ガ、其席ニ高橋大藏大臣ガ列席シテ居ラレマシテ、以來必ズ斯様ニ致サウト明言セラレタノデアリマス、併ナガラ之ヲ私モ初メテノコトデアリマスカラ、前例ヲ能ク取調ベテ見マシタ所ガ、昨年ノ決算委員會ニ於テモ同様ナ希望ガ出タノデアリマス、之ニ對シテモ高橋大藏大臣ガ答ヘラレタヤウナト殆ド符節ヲ合スルガ如ク簡單ニ其同意ヲ表示サレテ居ルノデ、然ルニモ拘ラズ年々歳々同一ノ希望ヲ繰返シ、同一ナル答辯ニ接スルト云フコトハ頗ル遺憾ニ堪ヘナイ次第デアリマスルカラ、本年以後ハ必ズ嚴密ニ此然諾ヲ重ンズルコトヲ此席ニ於テ深ク切望スル次第デアリマス、斯様ナ次第デアリマシテ委員會ハ慎重審議ノ結果右御報告申上ゲマシタル所ノ、穩當ヲ闕クモノナリト認ムト云フ件ガ四ツ、其他五十三件ニ對シテ警告ヲ發シタノミデ、跡ハ全部異議ナシト云フコトヲ委員會ハ可決シタ次第デアリマス、右御報告イタ

シマス

○議長(公爵徳川家達君) 本院規則第五十二條ノ但書ニ依リマシテ會議ノ時間ノ延長ヲ宣告イタシマス、別ニ御發言モナイヤウデゴザイマスカラ採決イタシマス、決算委員長ノ報告ニ同意ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○議長(公爵徳川家達君) 過半数ト認メマス

○侯爵細川護立君 此際議事日程ヲ追加サレマシテ、借地法案ノ特別委員會ノ經過竝ニ結果ヲ御報告イタシタイト存ジマス

○子爵八條隆正君 贊成

〔其他「贊成」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 此際議事日程ヲ變更セラレマシテ、借地法案ノ第一讀會ノ續ヲ開クコトニ御異存ゴザイマセスカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス、付テハ特別委員長ノ報告ヲ求メマス

借地法案

右否決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

大正八年三月二十六日

右特別委員長

侯爵細川 護立

貴族院議長公爵徳川家達殿

〔侯爵細川護立君演壇ニ登ル〕

○侯爵細川護立君 借地法案特別委員會ノ經過竝ニ結果ヲ此際簡單ニ御報告イタシマス、既ニ明治四十一年三月七日衆議院議員磯部四郎君外何名ヨリ此借地ニ關シマスル法律ヲ提出サレマシテ以來、借地案ノ歴史ハ實ニ長イノデゴザイマス、今年ニ入りマシテ提出サレマシタ借地法案ニ至リマシテ實ニ七回ト云フコトデゴザイマス、本案提出ノ理由ハ先キニ司法次官ガ此席ニ於テ述ベラレマシタ如ク、尙ホ委員會ニ於テモ詳細承ツタノデゴザイマス、而シテ委員會ノ速記録モ既ニ七回マデハ過日柳澤伯爵ノ御質問ニ私ハ御答シテ置キマシタ如ク、出來マシタノデ、諸君モ御熟讀ノコトト存ジマスルカラ、茲ニ其

説明ト質問ニ付キマシテハ全部省略ヲ致シマス、其後ノ委員會ニ於キマスル質問應答モ内容ニ於テハサシタル變リハナイノデゴザイマス、十數回ノ委員會ヲ經マシテ今日午後二時頃ニ至リマシテ初メテ討議ニ入ッタノデゴザイマス、今討議ノ内容ヲ極ク簡單ニ御紹介ヲ致シマス、討議ニ入りマシテ一委員ヨリ此法案ノ數箇條ニ付キマシテ甚ダ不完全デアルト云フヤウナ意味ヲ列舉サレマシテ述べラレタノデアリマスガ、是ハ委員長ニ於キマシテモ聽取リ難キコトモゴザイマシタカラ、此點ニ於テハ御質問ニ依ッテハ、或ハ其委員ヨリ御説明ガアツタ方ガ宜イト存ジマスカラ省略イタシマス、次ニ或ル一委員ヨリ否決ノ意見ガ出タノデアリマス、其意見ヲ茲ニ申上ゲマス、政府ニ於テ專門家ニ依ッテ調査ニ調査ヲ加ヘテ制定サレタト自稱スル此法律案ハ、大體ニ於テハ此法律ヲ設ケルト云フ必要ハ認メルノデアアル、併シ十數回ノ委員會ニ於ケル質問應答ノ結果、外ノ委員ノ意見ハ知ラナイノデアアルケレドモ、此法案ニ付テハ同意シ兼ネルト云フ點ニ於テハ一致シテ居ラウト云フコトハ、自分ハ信ジルノデアリマス、故ニ是ハ一先ヅ否決シテ更ニ當局ニ於テ委員ノ言葉ヲ參照サレ修正サレテ、更メテ提出セラレムコトヲ希望スル、貴族院ニ於テ之ヲ修正スルコトガ出來ヌト云フコトデハナイケレドモ、此法案ノ如キハ各地方地方ノ習慣ヲ重シナケレバナラヌ、ソレガ爲ニ政府ハ尙ホ其習慣ニ付テハ不十分ナル取調デアルト云フコトデアリマスルカラ、是等モ十分ニ調査サレテ政府ヨリ提出サレタ方ガ然ルベキデアルト云フ意見デアリマス、是ニハ政府ニ於テハ相當ノ取調機關モアリ便宜デモアルカラ、政府カラ之ヲ提出サレタ方ガ宜イト云フ意味デ否決ノ意見ヲ述べラレタノデアリマス、次ニ或ル一委員モ大體ニ於テ其意味ニ同意スル、ソレガ爲ニ自分ハ否決ノ意見ヲ述ベルト云フコトデアリマス、次ニ或ル委員モ大體ニ於テハ前ノ委員ノ諸君ト意見モ一致シテ居ル、理由ヲ簡單ニ言ヘバ、第一ニ此法律案ハ勅令ヲ以テ其施行スル地區ヲ定メルト書イテアルニ拘ラズ、政府ハ確信ヲ以テ此法律ヲ施行スル場所ハ東京ニ限ルト云フヤウナ答辯ヲ得タノデアアル、而シテ其他ノ地區ハ是ヨリ調査ヲシテ何處ニ施行スベキカラ決スルト云フヤウナコトデ、是等ハ實ニ甚ダ不完全デアルト云フヤウナ意味デアリマシタ、ソレガ爲ニ再調査ヲ必要トスルト云フ意見デアリマシタ、第二點ハ凡ソ斯ルモノハ立法政策ヲ定メテ之ニ基イテ法案ヲ作ルノガ順序デアアル、然ルニ政府ハ其順序ヲ誤ッテ居ルカノ如キ感ジガスルノデアアル、而シテ此法案ハ立法ノ趣旨、目標等ガ甚

不明確デアルト云フノデアリマス、第三點ニ於キマシテハ此法文ニ於テハ現在ノ習慣ト異ッタ所ガアル、又斯ノ如ク決スルトシテモ、種々公平ヲ失スルト認ムルヤウナ場合モアルト思フト云フノデアリマス、第四點ハ民法トノ關係ニ於テ此法文ノ意義ガ明ナラズ、且ツ疑點モ多イト云フノデアリマス、此四點ヲ列擧サレマシテ其委員モ亦決ノ意見ヲ提出サレタノデアリマス、次ニ或ル委員ハ既ニ十數回ノ委員會ヲ重ネテ大體ニ於テ此法案ガ委員會ニ於テ歡迎サレテ居ラヌト云フコトハ自分モ知ツテ居ル而シテ委員ノ説ヲ聽クノニ此法案ハ地主ノ方カラ見テモ借地人ノ方カラ見テモ、不完全ト見エルト云フコトヲ承ツテ居ル、凡ソ法律ヲ作ルニ當ツテ何レノ點ニ偏スルモ不可デアアル、兩方所謂借地人ト地主ノ雙方ノ利益ヲ保護スルノ要ハ疑ヲ容レヌノデアアル而シテ今日ノ場合ニ於テ相當ノ程度ニ於テ地主ト借地人ノ利益ヲ如何ニシテ調和スルカガ問題デアアル、而シテ如何ニシテ調和スルカハ、斯ノ如キ法律ニ依ルヨリ外ハ致シ方ガナイト思フ、而シテ自分、此意見ヲ決メルニハ更ニ政府ノ意見ヲ聽イテ此意見ヲ決メタイト云フ趣意デアリマス、茲ニ於テ鈴木次官ガ立ツテ政府ノ意見ヲ述ベラレタノデアリマス、政府ノ意見ハ今日マデ質問ヲ重ネタ外……其質問ノ中ニ於テ一二意見ヲ承ツタケレドモ參考トスベキ意見ノ多クハ聽カナイノデアアル、既ニ政府ニ於テ之ヲ提出シタ場合ニ於テハ、政府ハ完全ト思タガ故ニ之ヲ提出シタノデアアル、併ナガラ之ヲ全然修正スル餘地ガナイトハ自分ハ唯今考ヘテ居ラス、今日ノ形勢ニ於テ此委員會ニ於テ此法案ガ否決サレルト云フコトハ、貴族院ガ或ハ法律其モノガ必要ガナイトシテ否決シタノデアアルト云フコトヲ世間カラ思ハレテモ、自分共モ甚ダ遺憾ニ感ズルト云フヤウナ意見デアリマス、而シテ今日ニ於テモ尚ホ諸君ノ意見ヲ聽イテ之ヲ修正スルコトガ出來レバ幸デアルト云フヤウナ意見ヲ聽イタノデアリマス、ソレガ爲ニ或ル一委員ハ懇談的ニ、然ラバ既ニ政府モサウ云フヤウナ意見デアラナラバ、之ヲ撤回シテ更ニ修正ヲ加ヘテ次ノ議會ニ提出スルナリ、左様イタサレテハ如何デアアルカト云フヤウナコトデアリマシタガ、政府委員ハ今日ノ場合撤回スルコトハ得ナイ、是ハ爲シ得ナイト云フ答デアリマス、其次ニ或ル一委員ハ既ニ此精神ニ反對シテ居ルノデハナイ、併シ今日ノ場合之ヲ此儘所謂握潰シマスルガ如キハ斷ジテ取ル所デナイ、是ハ宜シク今延期ノ意味ニ於テ否決スルト云フコトガ最モ適當ト思フト云フヤウナ意見デアリマス、尙ホ一委員ヨリ是ハ此法文ハ多少法文ガ多ニ過ギハシナイカ、是等

ヲ制定サレル場合ニ於テハ各地方ノ習慣ヲモ參酌セラレテ、而シテ法文モ少クシテ明ナル法律ヲ提出サレムコトヲ希望スルト云フヤウナ意味デアリマス、甚ダ多イ意見デアリマスルガ、是等ノ所謂否決論者ノ大體ノ意見ヲ綜合イタシテ申シマスレバ、本案ノ如キ地主及借地人ノ關係ヲ規定シ、其權利義務ヲ明ニスル法律ノ制定ノ必要ナルコトハ、委員悉ク之ヲ認メテ居ルト申シテモ過チナイト信ジルノデアリマス、唯此法案ニ於キマシテハ幾度カ質問應答ヲ重ネマシテ、或ハ懇談的ニ當局ノ意見ヲ聽キマシタケレドモ、尙ホ煩雜デアツテ難解ノ點ガ數點アルノデアリマス、而シテ此法文ヲ一タビ修正スルト云フコトニナリマスレバ、此法案ノ全部ヲ根柢カラ覆シテ更ニ立案シナケレバナラヌト云フ結果ニ陥リマス、尙ホ一二箇條ヲ修正スルトナルト、其爲メ全部ガ滅却スルトフヤウナ虞ガアルノデアリマス、故ニ政府ニ於テハ種々ノ調査機關モアリ、更ニ地方ノ習慣其他ニ於テ十分ニ調査ヲ盡サレテ審議サレタ結果、新ニ然ルベキ法案ヲ提出セラレムコトヲ望ムト云フ意味ニ於テハ、否決論者ハ一致シテ居ルト考ヘルノデアリマス、採決ノ結果ハ原案賛成者ハ一人デアリマシタ、而シテ本案ハ否決セラレタノデアリマス、尙ホ詳シイコトノ御質問ニ於キマシテハ、出來ルダケ御答ヲスル積リデアリマスガ、全部速記録ニアルト申シテモ過言デナイト存ジマス、此段御報告申上ゲマス

起立者 少數

○議長(公爵徳川家達君) 少數ト認メマス、故ニ本案ハ否決セラレマシタ

○伯爵柳原義光君 此際日程ヲ變更セラレマシテ、司法代書人法案ヲ上セラレムコトヲ希望イタシマス

○子爵八條隆正君 賛成

○議長(公爵徳川家達君) 議事日程ヲ變更セラレマシテ、此際司法代書人法案ノ第一讀會ノ續ヲ開クコトニ御異存ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス、付テハ……

〔伯爵柳原義光君發言ノ許可ヲ求ム〕

暫ク御待ヲ願ヒマス、付テハ特別委員長ノ報告ヲ求メマス、柳原伯爵

司法代書人法案

右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

大正八年三月二十六日

右特別委員長

伯爵柳原 義光

貴族院議長公爵徳川家達殿

〔伯爵柳原義光君演壇ニ登ル〕

○伯爵柳原義光君 簡單ニ司法代書人法案ノ委員會ノ經過及結果ヲ御報告申上ゲマス、此案ハ諸君モ御存ジノ如ク衆議院提出ノ案デアリマス、ソレデ最初此案ガ議場ニ議題トナッテ現ハレマシタ時ニ、政府委員ハ出席シテ居ラレタニモ拘ラズ、此案ニ向ッテ、勿論議員ノ諸君ノ中カラ政府ノ意見ヲ質サレル所ノ御質問ハナカッタデアリマスガ、政府ガ進ンデ此案ニ對シテ何等意見ヲ申述ベラレナカッタデアリマス、其後議長カラ委員ニ私ガ指名ヲ受ケマシテ、ソレデ、正副委員長ノ選舉ヲ其後行ッタデアリマス、併ナガラ右申上ゲマシタ如ク初メテ此案ガ議題トシテ當議場ニ現ハレマシタ時ニ、政府ハ何等此案ニ熱心デアリヤウナ、此案ニ賛成デアリヤウナ意見ガナカッタモノデアリマスカラ、是ハ會期切迫ノ折柄デモアルノデ、餘リ政府ハ此案ヲ熱心ニ賛成セラレルノデハナイト云フ位ニ私ハ考ヘテ居ッタ、決シテ怠慢デモ何デモナカタノデアリマスガ、右様ナ理由ニ依ッテ今日マデ唯正副委員長ノ選舉ダケ行ッテ、其他會議ハ開カナカッタデアリマス、然ル所政府ノ方カラ此案ニハ全然同意ヲスルノデアリカラ、會期切迫ノ今日デアリマスケレドモ、此案ハ内容ハ極メテ良イノデアリカラシテ、ドウゾ會議ヲ開イテ見テ呉レト云フ希望ガ實ハアッタデアリマス、今日此希望ニ基キマシテ、ソレナラバ開カウト申シテ此會議ヲ今日午後ニ至リマシテ開イタ次第デアリマス、ソレデ唯今此案ノコトヲ申上ゲル前ニ前後ハスルノデアリマスルガ、一應政府ニ私ハ將來ノコトニ向ッテ注意シテ置キタイト思フノデアリマス、ソレハ唯今同僚デアアル所ノ大木伯爵ガ大聲叱呼シテ高橋大藏大臣ニ言ハレタ如キコトデハナイノデアリマスガ、私ノミナラズ柳澤伯爵ノ如キ、常ニ衆議院提出ノ案ニ向ッテハ成ルベシ政府ガ賛否何レカノ意見ヲ、我々ノ爲ニ參考ニ相成ルモデアアルカラ述ベテ呉レト云フ希望ハ、何時デモ申述ベテ居ラレルノデアリマス、殊ニ賛成ヲ表セラル、案デアッタナラバ、衆議院ノ提出案ナリト雖モ斯

ノ理由デアアルガ故ニ賛成ヲ表スルト云フコトヲ言ハレテ、サウシテ滿場ノ諸君ニ其意義ヲ徹底セシムルノガ、是ガ當然ノコトデアラウト思フノデアリマス、又サウデアッタナラバ今日ノ如キ誤ハ無ガッタデアリマスガ、前申上ゲマシタ如ク政府ガ餘リ御熱心デナイト思ッタ爲ニ、會期切迫ノ折柄ワザ／＼委員會ヲ開クニモ當ラスト思ッテ、委員會ノ會議ヲ開カナカッタデアリマスガ、政府ハ非常ニ賛成デアルト云フコトデアリマス、將來ハ成ルベク政府委員ハ衆議院提出ノ案ト雖モ、賛否ノ意見ノ在ル所ハ憲政上ノ德義トシテ成ルベクハ述ベテ戴キタイモノデアルト云フコトハ、痛切ニ此點ニ於テ感ジマスルガ故ニ、司法次官一人ト云フノデハナイノデアアル、政府當局者ニ向テモウ少シ衆議院ノ案ニ向ッテ、親切ニ賛否何レカ意見ノ在ル所ヲ此議場ニ於テ表明シテ戴キタイト云フコトヲ切望シテ止マヌノデアリマス、此案ノ内容ハ要スルニ年々請願トシテ當院ニモ現ハレテ來ルノデアリマシテ、司法代書人ニ關スル所ノ法規ヲ定メテ呉レト云フ請願モ、始終現ハレテ來ルノデアリマシテ、當院ニ於テモ是ハ採擇シテ居ッタデアリマス、又政府當局ノ意見モ聽キマシタ所ガ、政府モ何トカシテ此司法代書人ノ取締ヲシタイト云フ希望ハ持ッテ居ラレタモノダサウデアリマス、ソレデ衆議院デ初メテ此案ヲ提出ニ相成リマシタ時ニハ、此内容トハ少シク異リマシテ、恰モ辯護士法ニ依ッテ辯護士ヲ支配スルガ如キ法律ノモノデアッタサウデアリマス、併ナガラ政府ハ其儘デハ之ヲ賛成シナカッタデアリマス、段々懇談ヲ重ネマシタ結果、此修正スベキ所ヲ指摘シテ、サウシテ極メテ此時弊ヲ救フニ足ルダケノモノニ衆議院ニ於テ修正ヲ加ヘテ、サウシテ可決ヲシテ現ハレテ來タノガ此司法代書人法デアアルノデアリマス、ソレデ唯今ノ所デハ代書人ト申シマス者ハ、總テ東京デハ警視廳ノ管轄デ之ヲ取締リ、其他ハ地方官廳ニ於テ相當ニ取締リシテ居ルモノデアアルサウデアリマス、併ナガラ此案ニ依リマシテ、司法代書人ノ制ヲ定メマシテ、裁判所ニ屬スル所ノ司法代書人ハ特ニ司法代書人法ニ依ッテ司法省ニ於テ是ノ取締ヲスルト云フコトニシタイト云フノガ、此案ヲ提出シタ精神デアアルサウデアリマス、ソレデ段々政府當局ニ尋ネテ見シタ所ガ、代書人ニハ中々弊害ガ多イノデアリマシテ、時ト致シマスルト、職務上ノ秘密ヲ漏洩シタリナンカシテ、洵ニ之ヲ取締ラスルコトガ必要ナコトト思フノデアリマスケレドモ、前申ス如ク總テ是ハ東京ニ於テハ警視廳、地方ニ於テハ地方官廳ニ於テ之ヲ取締ラシテ居ルモノデアリマスガ故ニ、地方官憲トシテ

之ヲ取締ルニトハ出來ナカッタノデ誠ニ不便ヲ感ジテ居ッタデアリマスガ、此案ガ幸ニシテ成立スレバ之ヲ司法代書人ダケハ取締ルコトガ出來ルノデ、誠ニ都合ガ好イト云フ司法次官ノ意見デアッタデアリマス、ソレデ又内務省ノ側ノ意見ヲ尋ネル必要ガアリマスノデ、特ニ警保局長ノ出席ヲ求メマシテ尋ネマシタ所ガ、警保局長ニ於テモ此案ノ内容ニハ同意ヲ表セラレタノデアリマシテ、即チ簡單ナ是ダケノ條文ノ法律案デアリマスガ、是ガ實施出來マスレバ相當ニ取締リ得ル所ノ效果ハ確ニアルト云フ政府ノ言明ヲ得タ次第デアリマシテ、採決ノ結果全會一致ヲ以テ之ヲ可決イタシタノデアリマス、此段簡單ニ御報道ヲ致シテ置キマス、尙ホ詳細ナルコトハ若シ御質問ガゴザイマスレバ、政府委員ニ詳シク御尋アラムコトヲ希望イタシマス

〔發言ノ許可ヲ求ムル者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 唯今柳原特別委員長ガ司法代書人法案ノ特別委員會ノ經過、結果ヲ報告スルニ當リテ、政府提出案ニアラザルモノニ對シテ政府ヨリ政府ノ意見ヲ申述ベタト云フコトヲ御申述ニナリマシタガ、是ハ特別委員會ノ經過結果ニハ何等關係ノナイコトト考ヘマスカラ、將來委員會ノ經過結果ノ御報告ノ際ニハ左様ナコトヲ御陳述ニ相成ラヌコトガ宜カラウカト思ヒマス

〔發言ノ許可ヲ求ムル者アリ〕

而シテ政府ノ熱心ノ有無ニ付テ委員會ヲ開クト云フコトハ、成ルベク貴族院デハ避ケラレムコトヲ望ミマス

○伯爵柳原義光君 私トシテハ此案ニ對シテ政府ガ熱心デアッタナラバ熱心デアルダケ賛成ノ意思ヲ表セラレタガ便宜デアルト考ヘマシタカラ、今申シマシタノデアリマスガ、其以上ハ各ノ見ル所ニ依ッテ然ルベキコトト存ジマス

○議長(公爵徳川家達君) 議長ガ申シマシタノハ、司法代書人法案ノ特別委員長ノ資格ニアラズシテ、御自席デ其御説ヲ御述ニナルコトハ一向差支ナイコトト考ヘマス

○谷森眞男君 本案ニ付テ政府委員ニ質問イタシタウ存ジマス、本案ニ付テ是ガ可決ニナリマスレバ、唯今委員長ノ御報告ニ依ッテ相當ノ取締ハスルト云フ御説明デアッタヤウニ承リマシタガ、此司法代書人ノ取締ト云フコトハ餘程ムヅカシイコトデアラウト考ヘマス、是ハモウ代書人ノアリマスコトハ誠ニ

便利デアリマス、併ナガラソレニナル人ノ人格ノ問題ト云フモノガ餘ホド必要ノ問題デアラウト考ヘルノデアリマス、其邊ニ付テハ十分政府ニ於テ取締ヲナサルコトデアリマセウガ、動モスルト是ハ甚ダ悪ルイ弊害ヲ生ジテ、辯護士ニアラザル所ノ昔申シタ三百の代言ト云フコトニナリハシナイカト云フ弊ヲ私ハ甚ダ恐レルノデアリマス、其邊ノ取締ハ十分御出來ニナルコトト信ジマスガ、一應其邊ノ御考ヲチヨット何テ置キタイト存ジマス

〔政府委員鈴木喜二郎君演壇ニ登ル〕

○政府委員(鈴木喜二郎君) 御答ヘ申上ゲマス、唯今御質問中ニモゴザイマシタル通り、從來ノ制度デアリマスト云フト、世ニ所謂三百代言のト云フヤウナモノノ取締ハ實際出來ナイ、今日府縣若クハ警視廳ニ依ッテ認可ヲ受ケテ居リマス所ノ代書人ガ代書ノ事務ヲ營ム傍ニ、所謂人民ヲ唆カシテ訴訟ヲ提起セシメルトカ、或ハ自分ノ依頼ヲ受ケタル所ノ事件ノ内容ヲ相手方ニ密告スルトカ云フヤウナコトノ多ク弊害ガアルノデアリマス、所ガ今日ノ監督關係ニ於キマシテ、裁判所ニ於テハ奈何ニセム、之ニ向ッテ何等ノ訓戒、何等ノ譴責ヲモ加フルコトガ出來ナイノデ、本法ニ依リマシテ其監督等モ十分出來ヤウト思ヒマス、從ッテ代書人ノ認可ヲ與ヘマスルニ付キマシテハ十分其人ノ性格、技能等ヲ調査イタシマシテ嚴密ニ認許ヲ與ヘル考デゴザイマス

○議長(公爵徳川家達君) 兒玉伯爵ハ唯今議長ガ……何カ御發言ニナリタイ……

○伯爵兒玉秀雄君 モウ議長ノ先程ノ御説明デ了解イタシマシタ

○議長(公爵徳川家達君) 本案ノ第二讀會ヲ開クニ御異存ゴザイマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○伯爵柳原義光君 直チニ第二讀會ヲ開カレムコトヲ望ミマス

○伯爵松平頼壽君 賛成

○議長(公爵徳川家達君) 直チニ本案ノ第二讀會ヲ開イテ御異存ゴザイマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 第一條ヨリ終リ迄ヲ問題ニ供シマス……原案ニ御異存ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○伯爵柳原義光君 直チニ第三讀會ヲ開カレムコトヲ望ミマス

○子爵東坊城徳長君 賛成

○山脇玄君 賛成

〔「其他」賛成ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 直チニ第三讀會ヲ開イテ御異存ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 第二讀會決議通りデ御異存ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 農工銀行法中改正法律案、衆議院提出、第一讀會ノ續、委員長報告、片桐子爵

農工銀行法中改正法律案

右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

大正八年三月二十四日

右特別委員長

子爵片桐 貞央

貴族院議長公爵徳川家達殿

〔子爵片桐貞央君演壇ニ登ル〕

○子爵片桐貞央君 唯今議題ニ上ッテ居リマス農工銀行法中改正法律案ノ委員會ノ經過並ニ結果ヲ單簡ニ御報告申上ゲマス、委員會ハ一昨二十四日開キマシテ、審議ノ結果全會一致ヲ以チマシテ可決イタシマシタ次第デゴザイマス、本案ハ衆議院送付案デゴザイマシテ、政府ニ於カレマシテモ之ニ對シテ同意ヲサレテ居ルノデゴザイマス、本案ノ大體ノ要旨ヲ簡單ニ申上ゲマスレバ、小農工業者ニ對シマシテ資金ノ貸付ヲ致シ、其融通ヲ便利ナラシメテ

斯業ノ開發、發展ヲ益、圖リタイト云フノデゴザイマス、即チ改正案ハ第六條、第五條ニ於キマシテ二十人以上ノ農業者、又ハ工業者ガ連帶責任者ヲ集メマシテ借入ヲ要求イタシマシタ場合ニ於キマシテハ、其信用ノ確實ナル者ニ對シマシテハ定期償還ヲ定メマシテ、ソレニ貸付ヲ致スニナッテ居ルノデゴザイマスガ、此二十人以上ノ人ヲ集メマスト云フコトハ實際ニ於テ困難ナルノミナラズ、且又信用アル者ノミヲ二十人集メルト云フコトハ困難ナコトデアリマシテ、却ッテソレガ爲ニ法ノ精神ヲ誤ルヤウナコトガ往々ゴザイマスノデ、今回八十人ト致シマシテ、却ッテ信用ノアル者ヲ集メマシテ、確實ニ其資金ノ融通ヲ圖ルヤウニシタイト云フノデゴザイマス、又他ノ一ツハ据置年限ノコトニ付テデゴザイマシテ、第十三條ニ於キマシテ、据置年限ヲ一年以上五年以内ト定メテゴザイマスガ、今回ハソレヲ五年以内ト致シマシテ、又債務者ノ資力ニ應ジマシテ、据置年限ノ短縮、又ハ廢止ヲ希望イタシマシタ場合ニハ、其意思ニ任セマシテ据置年限ヲ廢止シ、又ハ短縮イタシタイト云フノデアリマス、尙又償還据置ヲ新ニ設ケマシテ、ソレハ天災地變、其他避クベカラザル事故ノ起リマシタ場合ニ於キマシテ、債務者ガ其資金ヲ返還スルノニ困難ヲ生ズル場合ガゴザイマスノデ、ソレニ對シマシテ、尙更据置年限ヲ五箇年以内ニ於テ据置年限ヲ置キタイト云フノデゴザイマス、此實例ヲ申シマスレバ、例ノ櫻島一件ガ基ニナリシテ、斯ウ云フ案ガ起ッタノダサウデアリマス、大體ノ要旨ハ唯今申上ゲマスヤウナ事情デゴザイマシテ、委員會ニ於キマシテハ二三ノ質問ガゴザイマシタ、簡單ニ其要旨ヲ申上ゲマスレバ、近來農工銀行ノ維持ガ困難ノヤウデアアル、爲ニ勸業銀行ト合併ノ問題モ起ッテ居ルヤウデアアルガ、ソレニ對シテ政府ハ如何ニ考ヘテ居ルカト云フコトデアリマス、政府ハソレニ對シテ目下調査中デゴザイマスノデ、具體的ニドウト云フ御返答ハ出來ナイト云フ答辯デゴザイマシタ、又其他勸業銀行ト農工銀行ノ貸付ニ對スル歩合ノ差違ハ如何、又農工銀行ノ現在ノ資金ハどの位デアルカト云フ數字上ノ御質問ガ二三ゴザイマシタガ、是ハ數字上ノコトニ涉リマスカラ茲デハ省キマス、以上申上ゲマシタヤウナ次第デアリマシテ、委員會ハ全會一致ヲ以チマシテ原案ヲ可決イタシマシタ次第デアリマス、此段御報告申上ゲマス

○議長(公爵徳川家達君) 小野田元熙君

〔伯爵大木濱吉君發言ノ許可ヲ求ム〕

○議長(公議徳川家達君) 小野田君ニ發言ヲ許シマシタカラ、暫ク御待ヲ願ヒマス

〔小野田元熙君演壇ニ登ル〕

○小野田元熙君 唯今委員長ヨリ御報告ニナリマシタ農工銀行改正案ニ賛成ヲ致シマスノデゴザイマス、賛成スルト同時ニ二ツノ希望ヲ述ベタイト存ジマス、今日ノ場合斯ノ如ク述ベルコトハ甚ダ遺憾ト存ジマスケレドモ、過日兩院ヲ通過イタシマシタル所ノ開墾助成法ガ近日公布ニナルコトト考ヘマス、是ガ公布ニナリマス、ドウシテモ此希望ヲ述ベテ置カケレバナラヌト云フコトヲ考ヘマシタガ爲ニ、暫ク清聴ヲ煩ハシタイト思ヒマス、其二ツト申スノハ此農工銀行ノコトハ、申上ゲルマデモナク、三十年ニ創立ニナリマシテ、僅カ一二縣ヲ除クノ外ハ三十年ニ創立ニナッタコトト記憶イタシテ居リマス、爾來其株ノ三分ノ一ハ府縣知事ノ持株ニナッタデアリマス、其趣旨ハ申上ゲルマデモナイ、一縣ニ一ツ設ケマシテ、地方ノ農業工業ノ發達ヲ圖ルト云フ御趣意ニ過ギナイヤウニ存ジマス、其爲ニ、當初ハ十年間ト云フモノハ補助法ニ依リマシテ、府縣知事ノ配當ハ致サナカッタ、其十年間ト云フモノハ農工銀行ニ交付シテ、府縣知事以外ノ株主ニ皆配當シテ仕舞ッタ、語ヲ換ヘテ申シマスレバ、數多銀行ガアル中デ、農工銀行ノ株主ニ限ッテ國庫カラ補助ヲ受ケタト云フコトニナル、然ルニ尙ホ五年間ノ配當ノ延期ヲ請求シテ、矢張り引續イテ其府縣知事ニ株主配當ヲセズニ、農工銀行ノ株主ニ配當シテ居ル、尙ホ五年間延期ヲ願ウタ、今度ハ補助法ヲ改正イタシテ、アトノ五年間ハ農工銀行ノ準備金ニ入レルト云フコトニナッタ、其金ヲ通計イタシマス、千百何万ト云フ金ニナリマス、ソレハ元金ダケヲ通算シタノデ、若シ之ニ半期毎利子ヲ加ヘマシタナラバ餘程多額ノ金ニナリマス、サウ云フヤウニ農工銀行ト云フモノハ恩典ヲ蒙ッテ居ルニモ拘ラズ、勸業銀行ト農工銀行ト協定ノ上ニ、勸業銀行ト云フモノハ三万圓以上デナケレバ貸付ヲシナイ、三万圓以下ハ農工銀行カラ借リスケレバナラヌ、其上ニ例ヘバ農工銀行デハ八朱、勸業銀行デハ一割、現ニ自分等大株主ノ時分ニ、同ジ縣ノ地域ノ耕地整理ヲ爲ス場合ニモ、三万圓以下ノ耕地整理ノ場所ハ八朱ノ金ヲ借リテ、ソレ以上ノ所ハ一割ノ金ヲ借リテ仕事ヲシタト云フコトニナッテ居ル、二十年間斯ノ如キ所ノ恩典ヲ蒙ッテ居タノデアリマシテ、二十年経ッテ初メテ府縣ニ交付スルコトニナッタ、其交付シマシタ所ノ金ガチヨット記憶イタシテハ居リマセヌヤウ

デスガ、大分大キナ金ガ今日府縣ニ入ッテ居リマスノデアリマス、七十二万圓ト云フモノガ今度府縣ノ歳入ニナッタ其歳入ハ一般會計ニ入レテ使ッテ參リマス、サウ云フコトニナッテ居リマスノデゴザイマシテ、二十年間此保護ヲ受ケタノデアリマスカラ、最早農工銀行ト勸業銀行ノ貸付ノ制限モナク、又利子モ勸業銀行同様ニ農工銀行ハ貸付ケテ居ルモノト自分ハ考ヘテ居リマシタガ故ニ、過日委員會ニ於キマシテ聞キマシタ所ガ、矢張り依然トシテ三万圓以上ハ勸業銀行、三万圓以下ハ農工銀行ト云フコトニナッテ居ル、此度開墾助成法案ハ政府カラ六朱ノ利子ヲ與ヘテ開墾ヲ獎勵サレルト云フニ拘ラズ、尙ホ農工銀行カラ借リル金ガ高イト云フコトハ甚ダ宜クアルマイト思ヒマスカラ、第一ノ希望ハ、農工銀行ト勸業銀行ヲ合併シマシテ、今ノ代理店ノ名義ヲ支店ニシテ合併シタイト云フ希望デアリマス、此合併ガ俄ニ出來マセヌナレバ、今申上ゲマシタ所ノ貸付金額ヲ、矢張り農工銀行ノ貸付モ勸業銀行ノ貸付モ金ノ制限ヲ取ッテ仕舞ッテ、尙ホ其上ニ利息ノコトモ矢張り勸業銀行同様一割ナラバ一割、同一ノ貸付ノコトニシタイト云フコトガ、是ガ第一ノ希望デアリマス、第二ハ此農工銀行ニ關係ガゴザイマセヌガ、今府縣ニ配付シテ居ル所ノ七十二万圓ノ金ヲ農工銀行ノ補助法ニアリマス所ノ府縣知事ヨリ内務大藏大臣ノ許可ヲ得マスレバ、町村ニ配付ガ出來ル、配付シタ所デ僅カ百万圓未滿ノ金デゴザイマスケレドモ、御承知ノ通り町村ノ經濟ハ何レノ町村ト雖モ一万二千ノ町村デ教育費ガ半バ若クハ半バ以上ヲ占メテ居ル、ノミナラズ人口増殖ト同時ニ就學兒童ガ増シマシテ、建増シニ建増シト云フ有様デアリマス、ソレノミナラズ町村ノ此正教員ノ不足ヲ告ゲマスコトハ御承知ノ通り二万五千モアル、小學校ノ正教員ト云フモノヲ學級數ニ對シマスルト、十二万八千人ヲ要シマスノミナラズ、到底正教員ヲ得ルコトガ出來マセヌ爲ニ、多クハ代用教員ヲ以テ充テテ居ル、其正教員ノ不足ト云フモノハ二万八千人ト云フモノニナッテ居ル、サウ云フ町村ノ有様ニナッテ居リマスガ故ニ、府縣ニ配當ニナリマス所ノ金ハ農工銀行補助法ノ中ニ明ニ明文ガアルコト故ニ、法律モ何モ要セズシテ、大藏大臣ノ御訓令一本デ、府縣知事ガ上申シマスルナラバ、出來得ルコトト存ジマスカラ、之ヲ町村ニ配布シタイト、此二點デアリマス、甚ダ會期切迫ノ所デ餘計ナ希望ヲ述ベタヤウデ御清聴ヲ煩ハシテ相濟ミマセヌ

○中村圓一郎君 唯今小野田君ノ御演説ノ中ニ對シマシテ少シク伺ヒタイト思ヒマスガ宜シウゴザイマスカ

○議長(公爵徳川家達君) 質問デスカ

○中村圓一郎君 小野田君ニ對スル質問デス

○議長(公爵徳川家達君) 小野田君ニ對スル質問デアリマス

○中村圓一郎君 小野田君カ若クハ政府委員ニ對スル質問デアリマス

○議長(公爵徳川家達君) 御述ベ下サイ

○中村圓一郎君 ソレハ勸業銀行ハ三万圓以上ヲ御貸付ニナル、其以下ハ地方ノ農工銀行ニ貸付ケサスト云フコトニナツテ居ルト云フコトデゴザイマシタガ、私ハ左様ナコトハナイト承知シテ居リマス、一應サウ云フコトガアルカ否ヤヲ小野田君或ハ當局政府委員ノ御方ニ伺ツテ置キタイト思ヒマス

〔政府委員神野勝之助君演壇ニ登ル〕

○政府委員(神野勝之助君) 御答(致シマス、勸業銀行ガ自分ノ資金ヲ以テ貸付ヲ致シマス場合ニハ金額ニ制限ハゴザイマセヌ、唯先刻小野田君ノ仰セニナリマシタノハ大藏省預金部カラ低利資金ヲ出ス、其資金ニ付テノ御話デアツタカト考ヘマス、詰リ資金ヲ出シマストキニ三万圓以上ノトキハ勸業銀行カラ直接貸付ヲスルト云フコトニ大體極メテ居リマス、三万圓以下ノ分ハ農工銀行ニ代理貸付ヲサスト云フコトニ大體極メテ居リマス、場合ニ依ツテハ例外モアルコトハアリマスルガ、先ヅサウ云フコトニ極メテ居リマス

〔發言ノ許可ヲ求ムル者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 大木伯爵ニ御約束シテ置キマシタ

○伯爵大木遠吉君 私ハ委員長ニ質問ヲ致シタイ、委員長ノ報告ノ中、櫻島事件ト云フ御言葉ガゴザイマシタガ、一向了解ヲ致シマセヌカラ、其内容ノ御説明ヲ願ヒタイ

○子爵片桐貞央君 櫻島爆發ニ付キマシテ請負者ガ資金ノ返還ニ苦シマシタ場合ガゴザイマス、ソレニ付キマシテ据置年限、中間据置ト云フコトガゴザイマスト資金ヲ返還イタシマスコトニ付テ大變便利ヲ得ルノデアリマス、但シ利子ハ支拂フ、ソレニ付テ此中間据置年限ト云フコトガ起ツタ次第サウデアリマス、尙ホ精シイコトガ何デゴザイマシタラ政府委員カラ御聽ヲ願ヒタイ

○阪本鈔之助君 私ハ此農工銀行ト云フモノハ常ニ……ト申スノハ少シ語弊ガアルカモ知レマセヌガ、頗ル地方ニ於テ弊害ノ多イモノト了解イタシテ居リマス、府縣ニハ監理官ト云フモノガアリマシテ、縣廳ニ監理官ガ居リマシ

テ、常ニ監理イタスコトニナツテ居リマスケレドモ、農工銀行ハ多クハ地方ノ或ル勢力ノ寄ル所トナツテ居リマスルノデ、免角此府縣廳トノ關係上餘リ嚴格ニ監理スルコトガ出来ナイ事情ガ多イノデアリマシテ、免角貸出、其貸出ノ爲ニ延滞スル、此銀行ノ業務上ニ於テ事情ガ非常ニ纏綿スルコトガ多イノデアリマス、ソレデ私共考ヘマス、農工銀行法ヲ改正スルナラバ、一步一步嚴格ニ導ク方ニ改正シテ欲シイト思フ、ソレニ此度ノ改正ヲ見マスト寛大ニスル方デアリマス、二十人ノ信用貸ヲ今度ハ十人ニスルト云フコトデゴザイマスカラ、二十人ノ信用アル者ヲ寄セマスノハムヅカシイカラ、十人ニシタラ信用アル者ガ集ルト云フコトハ誠ニ堅白異同ノ辯デアル、二十人ナラバ不信用ナ者ガ多少混ツテ居リマシテモ、十人ヨリハ宜シイノデアアル、然ルニ二十人ガ十人ニナレバ、ヒドク信用ノアル人ガ集ルケレドモ、二十人デハ信用ノアル人ヲ集メルコトハムヅカシイト云フコトハ、サッパリ了解シ兼ネルノデアリマス、餘リ細カクハ論ジマセヌ、又据置年限ノ如キモ免角延滞勝ニナル、弊害アル銀行ニ向ツテ、更ニ又据置年限ノ延長ヲ法律改正ニ依テ見ルガ如キハ甚ダ感服シ兼ネルヤウニ存ジマスガ、政府ハ此案ニ御同意ニナツテ居ルト云フコトデアリマスカラ、農工銀行ノ弊害及將來ニ於ケル取締ハ此法律案ガ改正ニナツテ寛大ニナリマシテモ、ヨリ以上取締ガ出来ルト云フ御所信デアアルカト云フコトヲ一應伺ヒタイト思ヒマス

〔政府委員神野勝之助君演壇ニ登ル〕

○政府委員(神野勝之助君) 二十人ヲ十人ト致シマスノハ、形ノ上カラ申シマスルト寛大ニナツテ、取締ガ悪ルイカノ如キ觀ヲ呈スルノデアリマス、併ナガラ今日ノ實際ハ二十人ノ信用アル人ヲ集メルト云フコトハ事實困難デアルノガ今日ノ事實デアリマシテ、強ヒテ二十人ノ人数ヲ集メルノニ、自分達ノ家族親類ヲ集メテ二十人ニスルトカ、或ハ使ツテ居ル者ヲ集メテ二十人ニスルトカ云フコトヲシテ、唯其形ダケヲ繕フト云フヤウナコトガ往々アリマスノデ、實際二十人ノ資力アル人ヲ集メルト云フコトハ今日ノ状態デハ誠ニ困難デアアルノデアリマス、ソレデ寧ろ人数ヲ十人ニ致シテモ、實際資力アル人ガ集ル方ガ信用ガ厚イト見マシテ、此際十人ニスルト云フノハ今日ノ情勢ニ適シテ居ルモノト考ヘマシタノデアリマス、ソレカラ中間据置ヲ設ケマスノモ、矢張り是ハ從來ノ經驗ニ鑑ミマシテ、場合ニ依ツテハ起債者竝ニ債務者ノ相談ノ上、五年以内ノ中間据置ヲ附ケルト云フコトハ、其必要ニ應ジテ必要

ナコトト考ヘマシテ、政府ニ於テハ適當ト認メテ居リマスノデアリマス

○阪本鈔之助君 法律上ノ解釋ハ御辯明ヲ得マシタガ、現在ノ各地方ノ農工銀行ト云フモノハ、何レモ誠ニ整頓ヲ致シテ居リ、弊害ノ無イモノト御認ニナツテ居リマスカ、之ニ付テハ今日ヨリ以上ノ何カ御取締ヲナサルト云フ御考ガアリマスカ、既ニ小野田君ノ申サレマシタ勸業銀行ニ交付スルト云フヤウナコトナドモ、地方ノ弊害ヲ認メテ斯クナツタ方ガ寧ロ宜クハナイカト云フ風ニ考ヘテ居ルノデアリマスガ、今日ノ地方ノ農工銀行ハ良イモノモゴザイマセウ、良イモノモゴザイマセウガ、随分中ニハ如何ハシイモノガアリマスガソレ等ハ此法律ノ改正如何ニ拘ラズ、十分改良、若クハ整理ト云フヤウナコトニ付テ御取締ガ出來ツ、アリ、又御取締ヲナサルト云フコトヲ御注意ニナツテ居リマスカト云フコトヲ伺ヒタイト思ヒマス

○政府委員(神野勝之助君) 弊害ガ若シアリト致シマスレバ、ソレ等ノ點ニ付キマシテハ十分注意ヲ致シマシテ取締ル積リデ居リマス

○議長(公爵徳川家達君) 本案ノ第二讀會ヲ開クコトニ御異存ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○子爵片桐貞央君 直チニ第二讀會ヲ開カレムコトヲ望ミマス

○子爵八條隆正君 賛成

○議長(公爵徳川家達君) 直チニ本案ノ第二讀會ヲ開イテ御異存ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 全部ヲ問題ニ供シマス……全部原案ニ御異存ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○子爵片桐貞央君 直チニ第三讀會ヲ開カレムコトヲ望ミマス

○子爵八條隆正君 賛成

○議長(公爵徳川家達君) 直チニ本案ノ第三讀會ヲ開イテ、御異存ゴザイマ

セヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 第二讀會ノ決議通りデ御異議存ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ガナイト認メマス

〔内田嘉吉君發言ノ許可ヲ求ム〕

○議長(公爵徳川家達君) 内田君ハ……

○内田嘉吉君 私ハ議事ノ經過ニ付キマシテ議長ニ御尋ヲ致シタイト思ヒマスガ、發言ヲ御許ヲ願ヒマス

○議長(公爵徳川家達君) ドウ云フコトデゴザイマスカ

○内田嘉吉君 多數ノ案件モ既ニ議了シ終リマシテ、唯委員會ノ議事ニ付セラレマシタ穀物收用令ノコトニ付キマシテ何等ノ御報告モゴザイマセヌカデアリマス、之ニ關シマシテ委員長ヨリ……

○議長(公爵徳川家達君) チョット御待ヲ願ヒマス、其事ニ付テハ矢口長右衛門君カラ通告ヲ得テ居リマス

○内田嘉吉君 ソレデハ其方ニ……

○矢口長右衛門君 唯今質問ヲ致サムト思ヒマシタコトハ先刻ドナタカラカ言ハレマシタ穀物收用令其他二件ノ特別委員會ノ狀況デゴザイマスガ、是ハ此案ニ付キマシテハ數回會ヲ開カレマシタコトモ本員ハ承知イタシテ居リマス、而シテ今日問題ニナリマシテ、唯今此特別委員會ノ來歴ヲ必ズ報道サレルト豫期シテ居リマシタガ、更ニ其御様子ガアリマセヌカ、果シテ此案ヲバ何等解決ヲ與ヘナイノデゴザイマセウカ、又ソレトモ少數ニシテ委員會ヲ開クコトモ出來得ナカッタノデゴザイマスカ、要スルニ此問題ハ世間ノ人カラ餘ホド注目ヲ惹イテ居リマス、衆議院カラシテ送付ニナリマシテ、果シテアノ問題ハ如何ニ成行クカトハ地方ノ者ニ於テハ殊ニ注意ヲ惹イテ居リマス、而シテ何等此問題ニ付テ解決ヲ與ヘナイト云フコトハ大ニ其意ヲ得ヌト思ヒマス、随分議論モゴザイマセウシ、又委員トシテソレトモ意見モゴザイマセウ、果シテ其是非ヲ十分明ニシテ、之ヲ決シナイト云フコトハ本員ノ甚ダ遺憾トスル所デゴザイマス、ソレニ付テ委員長ヨリ其經過ハドンナ風デアッタ

カ果シテ今日開キ得ナカッタノハ如何ナル事情デアリシカ、其邊ヲ明ニ御答ヲ願ヒマス

○伯爵柳澤保惠君 私ハ委員長トシテ唯今ノ御質問ニ御答イタシマス、穀物收用令委員會ハ彙報ニアルガ如クニ、既ニ今日デ二回ト心得テ居リマス、前回ニ於テハ種々ノ御質問ガアリ、殆下一時間カ二時間位會ヲ開キマシタ、併シ其時ハ委員諸君ヨリ大臣ニ對スル御質問ガゴザイマシタ爲ニ、又大臣ハ御不在デアッタガ爲ニ會議ヲ續ケルコトガ出來ズシテ第一回ハ終ッタノデゴザイマス、次イデ今日其會ガアッタノデアリマスガ、私ハ不幸ニシテ差支ガアリマシタ爲ニ退席イタシマシテ、副委員長ニ御開催アラムコトヲ希望スル旨ヲ書記ニ申傳ヘテ置キマシタ、私ガ用ヲ終ッテ歸ッテ來ルト、其先キニ皆様デ會ガ開カレテ居ッタヤウデアリマス、今日ノ委員會ノ如何ニナッタカハ副委員長ヨリ御聽ヲ願ヒマス

○山脇立君 唯今委員長カラ申サレマシタ通りデアリマス、我々ノ委託ヲ受ケマシタノハ三件デアリマシテ……チヨット委員長ニ今代ルト云フコトハ甚ダ僭越ナ次第デアリマスガ、大正七年勅令三百七十三號ト、ソレカラ大麥及小麥粉ノ輸入稅減免ニ關スル法律案、ソレト穀物收用令ノ三件ノ委員會ヲ開イタノデアリマス、此穀物收用令ヲ除ケマシタ其案ヲ數回開會ヲ致シマシタ、此中ノ二案ハ委員會ヲ通過イタシタ次第デアリマス、穀物收用令ハ一番最後ニ殘ッテ、唯今委員長ノ御報告ニナリマシタ通りニ、本委員長御缺席ノ爲ニ私ガ代理ヲシテ委員會ヲ開キマシタ、所ガ會期切迫デ、本會モ大分議案ノ重要ナモノガアリマスシ、又委員會モ他ニ澤山アリマシテ、數回此委員ヲ集メテ見マシタ所ガ、ドウモ定數ニ滿タズシテ、遺憾ナガラ會議終リニ至ラズシテシマッタノデアリマス……間違ヒマシタ、會議ヲ開クコトガ出來ズシテ終ッタノデアリマス、是ヨリ外ニハドウモ御報告ヲ申スコトハ出來マセズ

○議長(公爵徳川家達君) 内田嘉吉君ニ伺ヒタイト思ヒマスガ、唯今内田君ノ御發言中議長ガ御止メ申シタヤウナ譯デ、甚ダ恐縮ナ譯デゴザイマスガ、矢口君ガ御通告ヲナサレテ居リマシタカラ、矢口君ニ發言ヲ御許シタノデアリマスガ、同じ御質問デナカッタカト思ヒマス

○内田嘉吉君 其通りデゴザイマス、矢口君ノ御質問ト私ノ方ハ同一デゴザイマスカラ取消シマス

○議長(公爵徳川家達君) 矢口君ニ伺ヒマスガ、唯今ノ問題ハモウ是デ宜シ

ウゴザイマスカ  
○矢口長右衛門君 宜シウゴザイマス

○議長(公爵徳川家達君) 日程第十五ヨリ第三十マデ請願會議  
〔左ノ意見書案ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタメ茲ニ載録ス以下之ニ倣フ〕

意見書案

金祿公債證書不足額下付ニ關スル件

佐賀縣佐賀市大字水ヶ江町士族著述業伊東祐穀外三十二名呈出(一通) 右ノ請願ハ請願人等ハ舊佐賀藩士ニシテ金祿公債證書ノ給與ヲ受ケタルモ尙眞實ノ祿高ニ對スル金額トノ差額ノ給與ヲ受クルヲ得ス而シテ該差額下附ノ請求ハ誤テ明治四十二年法律第二十一號ノ定ムル出訴期限ヲ經過シタル爲之ヲ爲スヲ得ス甚遺憾ナルヲ以テ之ヲ救済スル法律ヲ制定セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

大正八年 月 日

貴族院議長公爵徳川 家達

内閣總理大臣原敬殿

意見書案

金祿公債證書不足額下付ニ關スル件

佐賀縣佐賀市大字與賀町士族無職業江藤冬雄外十五名呈出 右ノ請願ハ請願人等ハ舊佐賀藩士ニシテ明治七年國事犯人トシテ處罰セラレ除族沒祿セラレタル者又ハ其ノ家名繼襲人ニシテ憲法發布ノ際大赦ノ恩典ニ浴シタルモノナリ而シテ家祿賞典祿ニ對スル金祿公債證書ノ給與ヲ受ケタルモ尙其ノ祿高ニ對スル不足額ノ追給ヲ受ケルヲ得サルハ甚遺憾ナルヲ以テ齊シク之ヲ給與スルノ法律ヲ制定セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

大正八年 月 日

貴族院議長公爵徳川 家達

内閣總理大臣原敬殿

意見書案

家祿賞典祿下付ニ關スル件

青森縣青森市浦町士族教員山内元八外三百二十六名呈出

右ノ請願ハ請願人等ハ舊斗南藩士ニシテ各種ノ事情ニ因リ明治三十年法律第五十號及明治四十二年法律第二十一號ノ發布ヲ知ラス該法律ノ與フル恩典ニ洩レタル者ナリ然ルニ大正六年行政裁判所ノ判決ニ依リテ舊斗南藩最後ノ祿制ヲ確認セラレタルヲ以テ之ヲ救済スルヤウ法律ヲ改正セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

大正八年 月 日

内閣總理大臣原敬殿

貴族院議長公爵德川 家達

意見書案

家祿賞典祿下付ニ關スル件

福島縣若松市徒之町公吏松本時正外二百十名呈出

右ノ請願ハ舊斗南藩士ハ祿制處分ノ際家祿ナシト認メラレ明治三十年法律第五十號ノ恩典ニモ浴スル能ハサリシカ後明治四十二年法律第二十一號ニ依リ行政訴訟提起ノ權利ヲ與ヘラレタルモ各種ノ事情ニ因リ之ガ權利ヲ實行シタル者全藩ノ三分ノ一ニ達セス然ルニ最近行政裁判所ノ判決ニ依リテ舊斗南藩最後ノ祿制ヲ確認セラレタルヲ以テ未出訴セサリシ請願人等ヲ救済スルヤウ法律ヲ改正セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

大正八年 月 日

内閣總理大臣原敬殿

貴族院議長公爵德川 家達

意見書案

特別用鹽規則中改正ノ件

青森縣青森市大字大町平民松森豊外一名呈出

右ノ請願ハ鯨ハ其ノ産額夥シク最食用ニ適ス然ルニ多ク食料トシテ利用セラレサルハ甚遺憾トスル所ナリ而シテ之ヲ國民ノ食料ニ供スルニハ鐵道輸送賃金ノ割引ト貯藏用鹽價ノ割引トヲ行フヲ以テ最急要ト認ムルカ故ニ特別用鹽規則第一條第一項第七號中ニ鯨ヲ加ヘラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

大正八年 月 日

内閣總理大臣原敬殿

貴族院議長公爵德川 家達

意見書案

三本松區裁判所復設ノ件

香川縣大川郡三本松町長岡田浩外九名呈出

右ノ請願ハ香川縣大川郡三本松町ハ近時諸會社勃興シ人口増加シタルガ爲裁判及戶籍事務頻繁ナルニ拘ラス曩ニ三本松區裁判所ヲ廢止セラレ遠隔ナル高松區裁判所ノ管轄ニ屬セシメラレタルハ甚遺憾ナルヲ以テ三本松區裁判所ヲ復設シ高松區裁判所管轄區域ヨリ適當ナル町村ヲ分離シ之ヲ管轄セシメラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

大正八年 月 日

内閣總理大臣原敬殿

貴族院議長公爵德川 家達

意見書案

野崎郵便局ニ集配事務開始ノ件

栃木縣那須郡野崎村長遠見佐太郎外三十三名呈出

右ノ請願ハ栃木縣那須郡野崎村ハ戸口多ク地域廣濶ニシテ各種ノ産物ニ富ムノミナラス村内ニ東北本線停車場ノ開設セラレシ以來交通取引ノ要地トナリタルニ拘ラス野崎郵便局ハ無集配局ナル爲野崎驛ニテ受渡スル郵便物ハ佐久山局ヲ迂回シテ集配セラルルニ依リ延滞甚シク不便不利尠カラサル

ヲ以テ野崎郵便局ニ於テ集配事務ヲ開始セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

大正八年 月 日

内閣總理大臣原敬殿

貴族院議長公爵徳川 家達

意見書案

坂上郵便局桑野郵便局間ニ遞送開始ノ件

岐阜縣吉城郡國府村公吏岡村利平外二名呈出

右ノ請願ハ岐阜縣下坂上、桑野兩郵便局ハ僅ニ四里ヲ隔ツルニ拘ラス其ノ間遞送ヲ行ハサル爲郵便物ハ河合、古川、船津、茂住、細入ノ各局ヲ迂回シテ發受セラレ多クノ日子ヲ費シ地方民ノ被ル不便不利甚シキヲ以テ速ニ兩郵便局間ニ遞送ヲ開始セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

大正八年 月 日

内閣總理大臣原敬殿

貴族院議長公爵徳川 家達

意見書案

野洲郵便局ニ電信竝集配事務開始ノ件

滋賀縣野洲郡野洲町長鷺田平吉外四十名呈出

右ノ請願ハ滋賀縣野洲郡ハ小郡ニ過キサレモ近年農蠶商工ノ諸業大ニ發達シ通信事務頻繁ヲ加ヘシモ是等ノ事務ヲ管轄スル守山及江頭兩郵便局ハ郡ノ一隅ニ僻在スル爲不便少カラス而シテ野洲町ハ郡ノ中樞ニ位シ交通至便ニシテ貨客ノ集散頻繁ナルニ依リ野洲郵便局ニ電信竝集配事務ヲ開始セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

大正八年 月 日

内閣總理大臣原敬殿

貴族院議長公爵徳川 家達

意見書案

家祿賞典祿下付ニ關スル件

山口縣阿武郡萩町平民福田卯三郎外一名呈出

右ノ請願ハ請願人又ハ其ノ先代ハ嘗テ舊山口藩ノ兵籍ニ入り功ヲ以テ賞典祿ヲ賜リタルモ明治三年國事ニ關スル犯罪ノ爲之ヲ沒收セラレ後大赦ノ恩典ニ浴シタル者ナリ然ルニ誤テ明治二十七年法律第二十號ノ定ムル出願期限ヲ經過シタル爲明治九年太政官第百八號布告ニ依リ金祿公債證書ヲ受クルコトヲ得サルニ至リタルハ甚遺憾ナルヲ以テ適當ナル方法ニ依リ之ヲ救濟セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

大正八年 月 日

内閣總理大臣原敬殿

貴族院議長公爵徳川 家達

意見書案

阿讃連絡鐵道東讚線敷設ノ件

香川縣高松市古馬場町平民會社員鈴木幾次郎外六十名呈出

右ノ請願ハ讚岐線高松驛ヨリ香川縣木田、大川ノ兩郡及徳島縣板野郡ヲ經テ徳島本線徳島驛ニ達スル鐵道ノ敷設ハ兩縣ノ交通ヲ阻害スル峻嶺ヲ突破シ四國循環鐵道ノ一行程タルト共ニ沿線地方ノ富源ヲ開發シ商工業ノ發展ヲ促スモノナルヲ以テ速ニ之ヲ實施セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

大正八年 月 日

内閣總理大臣原敬殿

貴族院議長公爵徳川 家達

意見書案

上越鐵道中高崎澁川間工事速成ノ件

群馬郡高崎市長古木秀太郎呈出

右ノ請願ハ上越鐵道ノ敷設工事中高崎方面ハ澁川沼田間ノ工事ヲ先ニシ高

崎澁川間ヲ後ニセラルル由ナルモ右ハ高崎澁川間ノ密接ナル經濟關係ヲ無視シ地方富源ノ開發上遺憾ナルノミナラス澁川沼田間ノ工用材料ノ輸送等ニ前橋又ハ高崎ヨリ澁川ニ至ル既設電氣鐵道ヲ使用スルカ如キコトアラハ是等ノ地方ノ交通ハ一層混亂スルニ至ルヘキヲ以テ速ニ高崎澁川間ノ工事ニ著手セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

大正八年 月 日

貴族院議長公爵徳川 家達

内閣總理大臣原敬殿

意見書案

福岡縣三潞郡大野島村ニ無集配郵便局設置ノ件

福岡縣三潞郡大野島村士族農蒲池正規呈出

右ノ請願ハ福岡縣三潞郡大野島村及佐賀縣佐賀郡大託間村ハ境域相接シ地澗ク人口多ク海産物ニ富ミ郵便事務頻繁ナルモ郵便局ヲ距ルコト遠ク不便尠カラサルヲ以テ兩村ノ中央ニ位スル大野島村字内開ニ無集配郵便局ヲ設置セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

大正八年 月 日

貴族院議長公爵徳川 家達

内閣總理大臣原敬殿

意見書案

大正六年法律第六號軍人恩給法附則改正ノ件

鹿兒島縣川邊郡西加世田村平民農中尾正幹外二十三名呈出

右ノ請願ハ大正六年法律第六號ヲ以テ軍人恩給法ヲ改正シテ恩給ヲ受クルノ事由カ明治四十四年三月以前ニ生シタルト同年四月以後ニ生シタルトニ依リ支給額ヲ異ニスルノ不公平ヲ除去セラレタルモ尙扶助料ハ大正九年分ヨリ退職恩給又ハ免除恩給ハ同一年分ヨリ初メテ増加セラレタル全額ヲ支給セラルルハ物價暴騰セル今日ニ於テ受領權利者ノ甚苦痛トスル所ナルヲ以テ大正八年一月ヨリ十二月迄ノ分ヨリ増加セラレタル全額ヲ支給セラ

ルルヤウ同法附則第五項及第六項ヲ改正セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

大正八年 月 日

貴族院議長公爵徳川 家達

内閣總理大臣原敬殿

意見書案

東太良郵便局ニ集配事務開始ノ件

鹿兒島縣伊佐郡東太良村長時任市熊外一名呈出

右ノ請願ハ鹿兒島縣伊佐郡東太良村、西太良村ハ菱川郵便局ノ集配區域ニ屬スルモ同局ノ集配區域ハ廣大ニシテ兩村ニ配達スヘキ郵便物ハ甚シク遅著スルノミナラス兩村ハ川内川ヲ以テ郵便局ト隔絶シ屢洪水ノ爲ニ發著ヲ阻マルルヲ以テ東太良郵便局ニ於テ集配事務ヲ開始セラレ以テ兩村ノ利便ヲ圖ラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

大正八年 月 日

貴族院議長公爵徳川 家達

内閣總理大臣原敬殿

意見書案

區裁判所管轄區域變更ノ件

栃木縣鹽谷郡喜連川町長淺沼成久外二名呈出

右ノ請願ハ栃木縣鹽谷郡喜連川町、北高根澤村及熟田村ハ曩ニ大田原區裁判所ノ廢止ニ伴ヒ宇都宮區裁判所ノ管轄ニ屬シ多大ノ便利ヲ得タルモ大田原區裁判所ヲ復設セララルルニ及ヒ再其ノ管轄スル所トナリ不便不利言フヘカラサルモノアルヲ以テ管轄區域ヲ變更シテ之ヲ宇都宮區裁判所ノ所轄ニ移サレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

大正八年 月 日

貴族院議長公爵徳川 家達

内閣總理大臣原敬殿

○議長(公爵徳川家達君) 是等ノ請願ハ請願委員長ノ報告通リ採擇イタシテ御異存ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 日程第三十一ヨリ第四十六マデ請願會議

意見書案

勝山區裁判所出張所設置ノ件

岡山縣眞庭郡八束村長立田棟造外二名呈出

右ノ請願ハ岡山縣眞庭郡八束村、川上村及中和村ノ登記事務ハ勝山區裁判所湯原出張所ノ管轄ニ屬スルモ交通不便ニシテ特ニ春冬ノ候積雪ニ際シテハ困難甚シキヲ以テ該三村内適當ノ地ニ勝山區裁判所出張所ヲ設置セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

大正八年 月 日

貴族院議長公爵徳川 家達

内閣總理大臣原敬殿

意見書案

伯備線鐵道速成ノ件

岡山縣上房郡皆部村長杉圭三九外十五名呈出(十六通)

右ノ請願ハ山陰本線鐵道ノ風水害ニ遭フヤ破壊劇甚ヲ極メ之カ復舊容易ナラス國防上頗憂慮ニ堪ヘサルニ依リ曩ニ敷設ヲ決定セラレタル伯備線ヲ南北兩端ヨリ同時ニ起工シ速ニ之ヲ完成セシメラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

大正八年 月 日

貴族院議長公爵徳川 家達

内閣總理大臣原敬殿

意見書案

興部枝幸間鐵道敷設ノ件

北海道紋別郡雄武村平民漁業苦米地元次郎外百七十一名呈出

右ノ請願ハ北海道北見國興部村ヨリ澤木村雄武村幌内村等ヲ經テ枝幸村ニ至ル鐵道ノ敷設ハ沿線地方ニ於ケル林産鑛産ノ開發上竝「オホーツク」海沿岸一帯ニ於ケル漁業ノ發展上最必要ナルヲ以テ之ヲ速成セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

大正八年 月 日

貴族院議長公爵徳川 家達

内閣總理大臣原敬殿

意見書案

帝國在郷軍人會國庫補助ノ件

東京市麻布區飯倉町五丁目平民薪炭商山口健治郎外三百八十七名呈出

東京市下谷區谷中阪町平民公吏片山久藏外百四十三名呈出  
右ノ請願ハ帝國在郷軍人會ハ軍人精神ノ鍛鍊ト軍事智識ノ増進トヲ圖ルヲ以テ目的トシ國防上最重視スヘキモノナルニ拘ラス其ノ經費ハ主トシテ會員ノ醜金ニ俟タサルヘカラス斯ノ如キハ同會ヲシテ健全ナル發達ヲ遂ケシムル所以ニアラサルヲ以テ同會ニ對シ其ノ基本金トシテ相當ノ金額ヲ國庫ヨリ補助セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

大正八年 月 日

貴族院議長公爵徳川 家達

内閣總理大臣原敬殿

意見書案

鶴岡大泉間輕便鐵道敷設ノ件

山形縣東田川郡大泉村長伊藤傳治外二十一名呈出

右ノ請願ハ山形縣西田川郡鶴岡町ヨリ同縣東田川郡山添村ヲ經テ同郡大泉村大鳥ニ達スル輕便鐵道ノ敷設ハ同地方ニ於ケル豊富ナル利源ノ開發上竝

人文ノ啓發上最當ヲ得タルモノナルヲ以テ速ニ之ヲ實施セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

大正八年 月 日

内閣總理大臣原敬殿

貴族院議長公爵徳川 家達

意見書案

白水輕便鐵道敷設ノ件

福島縣西白河郡白河町平民藥劑師安田平助外百六名呈出

右ノ請願ハ郡山大宮間輕便鐵道ノ將ニ敷設セラレムトスルハ關係地地方民ノ喜フ所ナリト雖同鐵道線路中柵倉大宮間ノ工事ヲ速成スルニ於テハ既設ニ係ル私設鐵道白柵線等ト合セ白河水戸間ニ於テ東北本線ト常磐線トヲ連絡セシメ以テ沿線地方ヲ開發セシムヘキヲ以テ速ニ該工事ニ著手セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

大正八年 月 日

内閣總理大臣原敬殿

貴族院議長公爵徳川 家達

意見書案

北海道上川郡人舞村ニ帶廣區裁判所出張所設置ノ件

北海道上川郡人舞村平民商中田兼藏外十一名呈出  
右ノ請願ハ北海道上川郡人舞村屈足村ハ戸口多ク農業繁盛ニシテ登記事件繁多ナルモ之ヲ管轄スル帶廣區裁判所ヲ距ルコト遠ク往復ノ爲多クノ日子ト費用トヲ要シ不便不利甚シキヲ以テ人舞村宇清水ニ帶廣區裁判所出張所ヲ設置シ前記兩村及鄰村ヲ其ノ管轄區域トセラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

大正八年 月 日

貴族院議長公爵徳川 家達

内閣總理大臣原敬殿

意見書案

軍人恩給法中改正ノ件

熊本縣飽託郡清水村豫備役陸軍騎兵大尉長江虎臣外二十一名呈出  
右ノ請願ハ軍人恩給法ハ數度ノ改正ヲ經テ殆ト公平ヲ得タルモ尙明治二十三年勅令第二十四號ニ依リ特ニ官等ヲ進メラレタル者ニシテ其ノ官等ニ相當スル恩給ヲ得サルハ文官退職ノ場合若ハ近來陸海軍人ノ現役ヲ去ル場合ニ於テ優遇ノ方法ヲ探ラルルニ比シ權衡ヲ失スルヲ以テ彼此厚薄ナキヤウ同法ヲ改正シ大正八年度ヨリ之ヲ實施セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

大正八年 月 日

内閣總理大臣原敬殿

貴族院議長公爵徳川 家達

意見書案

鶴岡區裁判所狩川出張所設置ノ件

山形縣東田川郡狩川村長與山良平呈出  
右ノ請願ハ前期議會ニ於テ山形縣東田川郡狩川村大字狩川ニ鶴岡區裁判所狩川出張所ヲ新設セラレムコトヲ狩川村長外四箇村長ノ連署ヲ以テ貴族院ニ請願シ既ニ採擇セラレタルモ未之カ設置ヲ見サルハ甚遺憾ナルヲ以テ大正八年度ニ於テ之ヲ實行セシメラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

大正八年 月 日

内閣總理大臣原敬殿

貴族院議長公爵徳川 家達

意見書案

軍人恩給法中改正ノ件

巖手縣盛岡市仁王第四地割後備役陸軍歩兵少佐佐藤伍作外二名呈出  
 右ノ請願ハ軍人恩給法ハ數度ノ改正ヲ經テ殆ト公平ヲ得タルモ尙明治二十三年勅令第二十四號ニ依リ特ニ官等ヲ進メラレタル者ニシテ其ノ官等ニ相等スル恩給ヲ得サルハ文官退職ノ場合若ハ近來陸海軍人ノ現役ヲ去ル場合ニ於テ優遇ノ方法ヲ探ララルルニ比シ權衡ヲ失スルヲ以テ彼此厚薄ノ差ナキヤウ同法ヲ改正セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

大正八年 月 日

貴族院議長公爵德川 家達

内閣總理大臣原敬殿

意見書案

町村長表彰規則制定ニ關スル件

大阪府東成郡鯉江町平民農算半兵衛呈出

右ノ請願ハ町村ノ事務ハ複雑ナルヲ以テ町村長ノ適否ハ地方自治ノ發展上至大ノ關係ヲ有ス然ルニ其ノ待遇十分ナラサルカ爲適村ヲ得ルコト困難ナルハ甚遺憾ナルヲ以テ町村長表彰規則ヲ制定シ功勞アル町村長ニ對シ勳位ヲ授與セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

大正八年 月 日

貴族院議長公爵德川 家達

内閣總理大臣原敬殿

意見書案

根室港修築速成ノ件

北海道根室郡根室町平民商細谷與吉外四十六名呈出

右ノ請願ハ根室港ノ修築ハ北海道拓殖計畫ノ一トシテ企畫セラレシト雖近時鐵道速成策ノ犧牲ニ供セラレ遂ニ其ノ實施ヲ見ス然ルニ同港ハ航海ノ要衝ニ位シ海外輸出港トシテ及北千島産業開發ノ策源地トシテ船舶ノ出入貨物ノ集散益多キヲ加フルニ至リ之カ修築ハ一日ヲモ緩ウスヘカラサルヲ以テ大正九年度ヨリ之ヲ實施セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體

ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也  
 大正八年 月 日

貴族院議長公爵德川 家達

内閣總理大臣原敬殿

意見書案

利根江戸兩川浚渫ノ件

千葉郡東葛飾郡野田町長齋藤倉吉外百四名呈出

右ノ請願ハ利根川及江戸川ハ一府五縣ニ互リ物資ノ輸送上唯一ノ水路トシテ船舶ノ航行最頻繁ナルニ拘ラス利根運河西口取手間及松戸關宿間ニハ數十箇所ノ淺瀬アリ運輸交通上ノ不便尠少ナラス爲ニ兩川沿岸地方ニ於ケル殖産興業ノ發達上一日モ忽諸ニ付スヘカラサルモノアルヲ以テ速ニ該箇所ヲ浚渫セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

大正八年 月 日

貴族院議長公爵德川 家達

内閣總理大臣原敬殿

意見書案

海嘯被害防禦ニ關スル件

東京市深川區新安宅町建築業島田藤吉外十四名呈出(二通)

右ノ請願ハ東京市ノ東部ハ南方一帶海ニ面シ土地概シテ低濕ナルカ爲颱風襲來スルトキハ怒濤狂奔シテ家屋ノ倒潰人畜ノ死傷其ノ他ノ損害慘狀名狀スヘカラサルヲ以テ速ニ國費ヲ以テ海嘯防禦ニ關スル適當ノ斃根本方策ヲ講セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

大正八年 月 日

貴族院議長公爵德川 家達

内閣總理大臣原敬殿

意見書案

日本住血吸蟲病豫防撲滅事業費國庫補助ノ件

山梨縣甲府市橋町山梨縣醫師會長高橋貞碩外一名呈出

右ノ請願ハ山梨縣甲府盆地ヲ中央ト爲シ笛吹、釜無兩川ノ沿岸及兩河川間一市五十一箇村ニ蔓延シツアル日本住血吸蟲病ハ縣民ノ保健衛生上最怖ルヘキモノナルヲ以テ同縣ニ於テハ半官半民ノ調査研究豫防機關ヲ設ケ今ヤ調査略完成シ將ニ豫防實施期ニ際會セムトスト雖之ニ要スル費用多大ニシテ水害後疲弊セル地方民ノ負擔ニ堪ヘサル所ナルヲ以テ同病豫防ノ爲國庫ヨリ相當ノ補助ヲ與ヘラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

大正八年 月 日

貴族院議長公爵德川 家達

内閣總理大臣原敬殿

意見書案

伯備線鐵道速成ノ件

岡山縣吉備郡庭瀨町長高島多七郎外五十三名呈出(五十四通)

右ノ請願ハ山陰本線鐵道ノ風水害ニ遭フヤ破壞劇甚ヲ極メ之カ復舊容易ナラス國防上頗憂慮ニ堪ヘサルニ依リ曩ニ敷設ヲ決定セラレタル伯備線ヲ南北兩端ヨリ同時ニ起工シ速ニ之ヲ完成セシメラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

大正八年 月 日

貴族院議長公爵德川 家達

内閣總理大臣原敬殿

○議長(公爵德川家達君) 是等ノ請願モ請願委員長ノ報告通リ採擇イタシテ御異存ゴザイマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス、唯今内閣總理大臣ヨリ通牒ヲ受領イタシマシタカラ報告ヲ致サセマス

〔成瀬書記官朗讀〕

大正八年三月二十六日

貴族院議長公爵德川家達殿

通牒

本月二十七日貴族院ニ於テ帝國議會閉會式執行被仰出候

○議長(公爵德川家達君) 是ニテ散會

午後五時四十一分散會

内閣總理大臣原 敬

